

令和6年度における施策推進方針(沿岸広域振興局)

施策推進方針	いわて県民計画(2019~2028)の推進に係る重要課題等																																																																					
<p>【スローガン】</p> <p style="text-align: center;">震災の風化を防ぎ 整備された社会基盤を十分に生かし 国内外に開かれた より良い復興の推進と持続可能な新しい三陸の創造</p> <p>【基本方針】</p> <p>1 「地域振興プラン」(Ⅰ安全、Ⅱ暮らし、Ⅲ産業の3つの振興施策の基本方向と15の重点施策項目)を着実に推進</p> <p>2 東日本大震災津波の教訓の伝承・発信と東日本大震災津波や多発した洪水・土砂災害からの復旧・復興に取り組み、被災者一人ひとりに寄り添った支援を継続して実施</p> <p>3 沿岸圏域の3つの重要課題である「人口減少対策の推進」、「主要産業の振興(主要魚種の不漁対策、水産加工業の振興)」、「安全・安心な地域づくり」に重点的に対応</p> <p>4 喫緊かつ最重要課題である人口減少対策については、市町村と連携・協働し、小規模町村には伴走型支援を行うなど、地域の特性を踏まえて対応</p>	<p>1 人口減少対策の推進(自然減・社会減対策) 管内市町村と連携し、県の「対策強化の3つの柱+1」に沿って推進</p> <p>(1) 少子化対策の強化の3つの柱</p> <p>① 有配偶率の向上(結婚支援)、② 有配偶出生率の向上(妊娠・出産・子育て支援)、③ 女性の社会減対策</p> <p>(2) 社会減対策の強化の3つの柱</p> <p>① いわてとのつながりの維持・強化(県内定着、U・Iターン)、② 多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上、③ ニューワーク・タイムズへの掲載を契機とした交流人口・関係人口の拡大</p> <p>(3) 少子化・社会減対策のプラスワン</p> <p>① 市町村や地域的な少子化対策、社会減対策に関する取組の支援・強化</p>																																																																					
<p style="text-align: right;">出典：岩手県毎月人口推計</p> <table border="1" data-bbox="212 991 1128 1230"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平成23年3月</th> <th colspan="3">令和6年3月</th> <th colspan="3">震災以後の増減率</th> </tr> <tr> <th>総数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>総数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>総数</th> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県央圏域</td> <td>481,369</td> <td>229,440</td> <td>251,929</td> <td>449,846</td> <td>214,159</td> <td>235,687</td> <td>-6.5%</td> <td>-6.7%</td> <td>-6.4%</td> </tr> <tr> <td>県南圏域</td> <td>505,872</td> <td>243,449</td> <td>262,423</td> <td>444,314</td> <td>218,049</td> <td>226,265</td> <td>-12.2%</td> <td>-10.4%</td> <td>-13.8%</td> </tr> <tr> <td>沿岸圏域</td> <td>216,848</td> <td>102,532</td> <td>114,316</td> <td>163,989</td> <td>79,289</td> <td>84,700</td> <td>-24.4%</td> <td>-22.7%</td> <td>-25.9%</td> </tr> <tr> <td>県北圏域</td> <td>122,554</td> <td>57,843</td> <td>64,711</td> <td>97,385</td> <td>46,386</td> <td>50,999</td> <td>-20.5%</td> <td>-19.8%</td> <td>-21.2%</td> </tr> <tr> <td>県計</td> <td>1,326,643</td> <td>633,264</td> <td>693,379</td> <td>1,155,534</td> <td>557,883</td> <td>597,651</td> <td>-12.9%</td> <td>-11.9%</td> <td>-13.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 県の重点事項であるGX・DXの推進も含め、地域の状況・ニーズを十分に踏まえ、市町村、関係団体等と協力・連携し、広域振興事業や地域経営推進費を効果的に活用して、地域の課題解決・地域振興を推進</p> <p>6 「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」の推進により、豊富な地域資源と整備された新たな交通ネットワークや様々なつながりを生かし、地域産業の振興と国内外との交流人口の拡大を推進</p>		平成23年3月			令和6年3月			震災以後の増減率			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	県央圏域	481,369	229,440	251,929	449,846	214,159	235,687	-6.5%	-6.7%	-6.4%	県南圏域	505,872	243,449	262,423	444,314	218,049	226,265	-12.2%	-10.4%	-13.8%	沿岸圏域	216,848	102,532	114,316	163,989	79,289	84,700	-24.4%	-22.7%	-25.9%	県北圏域	122,554	57,843	64,711	97,385	46,386	50,999	-20.5%	-19.8%	-21.2%	県計	1,326,643	633,264	693,379	1,155,534	557,883	597,651	-12.9%	-11.9%	-13.8%	<p>2 第2期地域振興プランの着実な推進 3つの振興施策の基本方向と15の重点施策項目により推進</p> <p>Ⅰ 安全(1復興・伝承、2自然災害対策) Ⅱ 暮らし(3被災者支援、4生活環境、5自然環境、6子ども・子育て・高齢者等、7医療・健康、8スポーツ・文化) Ⅲ 産業(9ものづくり産業、10雇用、11水産業、12農業、13林業・木材産業、14観光産業、15社会基盤の活用)</p> <p>※ ① 人口減少対策をはじめ、 ② 主要産業の振興(主要魚種の不漁対策、水産加工業の振興) ③ 安全・安心な地域づくり の沿岸圏域における3つの重要課題に重点的に対応</p>
		平成23年3月			令和6年3月			震災以後の増減率																																																														
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女																																																													
県央圏域	481,369	229,440	251,929	449,846	214,159	235,687	-6.5%	-6.7%	-6.4%																																																													
県南圏域	505,872	243,449	262,423	444,314	218,049	226,265	-12.2%	-10.4%	-13.8%																																																													
沿岸圏域	216,848	102,532	114,316	163,989	79,289	84,700	-24.4%	-22.7%	-25.9%																																																													
県北圏域	122,554	57,843	64,711	97,385	46,386	50,999	-20.5%	-19.8%	-21.2%																																																													
県計	1,326,643	633,264	693,379	1,155,534	557,883	597,651	-12.9%	-11.9%	-13.8%																																																													
	<p>3 その他令和6年度に取り組むべき重要課題</p> <p>(1) 県の重点事項の推進</p> <p>① GXの推進：脱炭素化推進、持続的な森林資源の確保 ② DXの推進：地域特性に応じた産業分野のDX推進</p> <p>(2) 三陸防災復興ゾーンプロジェクトの推進 三陸鉄道開業40周年、みちのく潮風トレイル全線開通5周年を契機とし、また、通年の三陸活性化イベントの実施・支援等による地域産業の振興・交流人口の拡大等</p>																																																																					



いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題

※ **広域**：広域振興事業、**地経費**：地域経営推進費、**本庁予算**：本庁予算により振興局で実施する事業

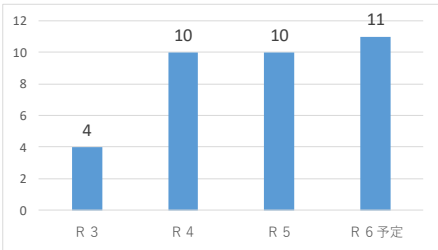

1 人口減少対策の推進（自然減・社会減対策）


管内市町村と連絡会議等により連携しながら、県の「対策強化の3つの柱+1」に沿って推進

現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																																																												
(1) 少子化対策の強化の3つの柱																																																																														
<p>① 有配偶率の向上（結婚支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域の女性（15～49歳）の人口及び平均有配偶率は、圏域別で最も減少率大きい 市町村単位での婚活イベントも開催されているが、居住地では参加しにくい人も多く、広域での開催の要望がある <p>⇒ 結婚を望む男女の出会いの機会の創出に向けた広域での取組が必要</p> <p>[女性（15～49歳）人口、平均有配偶率の状況（圏域別）]</p> <table border="1" data-bbox="219 715 869 938"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>県央</th> <th>県南</th> <th>沿岸</th> <th>県北</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">女性15-49歳人口</td> <td>1995年</td> <td>120,938</td> <td>113,059</td> <td>52,841</td> <td>30,393</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>87,145</td> <td>75,095</td> <td>25,332</td> <td>15,342</td> </tr> <tr> <td>1995-2020変化率</td> <td>△0.279</td> <td>△0.336</td> <td>△0.521</td> <td>△0.495</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性15-49歳平均有配偶率</td> <td>1995年</td> <td>0.567</td> <td>0.626</td> <td>0.624</td> <td>0.631</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>0.475</td> <td>0.507</td> <td>0.483</td> <td>0.491</td> </tr> <tr> <td>1995-2020変化率</td> <td>△0.161</td> <td>△0.190</td> <td>△0.226</td> <td>△0.222</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>出典：令和5年度第2回人口問題対策本部会議資料を基に沿岸局で作成</small></p> <p>② 有配偶出生率の向上（妊娠・出産・子育て支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性人口の減少や有配偶率の低下に伴い、出生数は、1995年（H7）と比較すると約6割減少 <p>⇒ 安心して子育てしやすい環境整備が必要</p> <p>[合計特殊出生率と出生数の状況（圏域別）]</p> <table border="1" data-bbox="219 1137 869 1353"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>県央</th> <th>県南</th> <th>沿岸</th> <th>県北</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">合計特殊出生率（算出）</td> <td>1995年</td> <td>1.44</td> <td>1.74</td> <td>1.74</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>1.29</td> <td>1.34</td> <td>1.34</td> <td>1.27</td> </tr> <tr> <td>1995-2020変化率</td> <td>△0.106</td> <td>△0.230</td> <td>△0.226</td> <td>△0.251</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">出生数</td> <td>1995年</td> <td>4,619</td> <td>4,841</td> <td>2,259</td> <td>1,282</td> </tr> <tr> <td>2020年</td> <td>2,874</td> <td>2,512</td> <td>847</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>1995-2020変化率</td> <td>△0.378</td> <td>△0.481</td> <td>△0.625</td> <td>△0.622</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>出典：令和5年度第2回人口問題対策本部会議資料を基に沿岸局で作成</small></p> <p>③ 女性の社会減対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学・就職期に圏域外に転出する女性や若者が多い <p>⇒ 女性や若者に魅力がある雇用・労働環境作りが必要</p>			県央	県南	沿岸	県北	女性15-49歳人口	1995年	120,938	113,059	52,841	30,393	2020年	87,145	75,095	25,332	15,342	1995-2020変化率	△0.279	△0.336	△0.521	△0.495	女性15-49歳平均有配偶率	1995年	0.567	0.626	0.624	0.631	2020年	0.475	0.507	0.483	0.491	1995-2020変化率	△0.161	△0.190	△0.226	△0.222			県央	県南	沿岸	県北	合計特殊出生率（算出）	1995年	1.44	1.74	1.74	1.7	2020年	1.29	1.34	1.34	1.27	1995-2020変化率	△0.106	△0.230	△0.226	△0.251	出生数	1995年	4,619	4,841	2,259	1,282	2020年	2,874	2,512	847	485	1995-2020変化率	△0.378	△0.481	△0.625	△0.622	<p>○ 結婚を望む男女への出会いの機会等の支援 さんりく結婚応援支援事業 <small>一部新規</small> 地経費：市町村連携枠【連携(管内9市町村)】 <small>(保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</small></p> <p>・ 三陸地域への愛着（移住促進）及び地元定着の意識を深めるため、三陸地域の観光資源等も活用した婚活イベントを開催 <small>一新</small></p> <p>・ 婚活イベントと合わせて、コミュニケーション能力や身だしなみ等、婚活に必須となるスキルを向上させるための事前セミナーを実施</p> <p>・ ”いきいき岩手”結婚サポートセンター（i-サポ）の周知</p> <p>○ 市町村と連携した妊産婦への子育て支援等 本庁予算 <small>(保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</small></p> <p>・ 「ママサポBOOK」(保健所作成)の妊産婦への配付、市町村と連携した子育て支援</p> <p>・ 「いわて子育て応援の店」協賛店の拡充</p> <p>○ 沿岸圏域における働き方改革の推進(「いわてさんりく働き方改革推進運動」) 本庁予算 <small>(産業振興室、保健福祉環境部)</small></p> <p>・ 女性や若者に魅力のある雇用・労働環境作りを進めるため、管内企業等が参集する会議や企業訪問での制度周知等により、「いわて働き方改革推進運動」、「いわて女性活躍企業等認定」、「いわて子育てにやさしい企業等認証」の普及活動を強化</p>	
		県央	県南	沿岸	県北																																																																									
女性15-49歳人口	1995年	120,938	113,059	52,841	30,393																																																																									
	2020年	87,145	75,095	25,332	15,342																																																																									
	1995-2020変化率	△0.279	△0.336	△0.521	△0.495																																																																									
女性15-49歳平均有配偶率	1995年	0.567	0.626	0.624	0.631																																																																									
	2020年	0.475	0.507	0.483	0.491																																																																									
	1995-2020変化率	△0.161	△0.190	△0.226	△0.222																																																																									
		県央	県南	沿岸	県北																																																																									
合計特殊出生率（算出）	1995年	1.44	1.74	1.74	1.7																																																																									
	2020年	1.29	1.34	1.34	1.27																																																																									
	1995-2020変化率	△0.106	△0.230	△0.226	△0.251																																																																									
出生数	1995年	4,619	4,841	2,259	1,282																																																																									
	2020年	2,874	2,512	847	485																																																																									
	1995-2020変化率	△0.378	△0.481	△0.625	△0.622																																																																									

現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																																												
(2) 社会減対策の強化の3つの柱																																																														
<p>① いわてとのつながりの維持・強化 (県内定着、U・Iターン) 若者の沿岸圏域への就職やU・Iターン等の移住定住を促進</p> <p>○ 学生へのキャリア教育等による若者の定着促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内新規高卒者の就職状況は、県内就職率は72.4%と全県(71.1%)より高いものの、管内への就職率は47.3%と昨年度より低下し5割を切ったところ(令和5年度) 沿岸地域の高卒者数は年々減少(令和5年度1,069人)、大学進学率は年々増加(令和5年度48.4%) <p style="text-align: right;">※データはP17に掲載</p> <p>⇒ 若者の地元企業への就職意識を高めるため、企業の魅力や発信力の向上、学生の管内企業への理解を深める取組、関係機関が連携して地域雇用を促進する取組</p> <p>○ U・Iターン、起業支援などによる移住・定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域では、若者・女性(特に15~24歳)の多くが進学・就職を機に圏域外に流出 なお、県外から管内市町村への移住者数及び相談件数は多くはないものの増加傾向 <p>⇒ 令和5年7月に設置した「沿岸圏域移住定住促進等連絡会議」での議論を踏まえ、地域の特性を踏まえた一層の社会減対策などの取組が必要</p> <div data-bbox="219 986 967 1375" data-label="Figure"> <p>2019-2023 社会増減 (沿岸圏域)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢層(歳)</th> <th>男性(人)</th> <th>女性(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0-4</td><td>-100</td><td>-100</td></tr> <tr><td>5-9</td><td>-100</td><td>-100</td></tr> <tr><td>10-14</td><td>-100</td><td>-100</td></tr> <tr><td>15-19</td><td>-1000</td><td>-1000</td></tr> <tr><td>20-24</td><td>-1000</td><td>-1000</td></tr> <tr><td>25-29</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>30-34</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>35-39</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>40-44</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>45-49</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>50-54</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>55-59</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>60-64</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>65-69</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>70-74</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>75-79</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>80-84</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>85-89</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> <tr><td>90-</td><td>-200</td><td>-200</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>出典：住民基本台帳人口移動報告年報データを沿岸局が加工</p>	年齢層(歳)	男性(人)	女性(人)	0-4	-100	-100	5-9	-100	-100	10-14	-100	-100	15-19	-1000	-1000	20-24	-1000	-1000	25-29	-200	-200	30-34	-200	-200	35-39	-200	-200	40-44	-200	-200	45-49	-200	-200	50-54	-200	-200	55-59	-200	-200	60-64	-200	-200	65-69	-200	-200	70-74	-200	-200	75-79	-200	-200	80-84	-200	-200	85-89	-200	-200	90-	-200	-200	<p>「沿岸圏域移住定住促進等連絡会議」等により市町村と連携した社会減対策を推進</p> <p>○ 県内へのキャリア教育による若年層の定着支援</p> <p>沿岸地域就職促進事業 地経費【連携(関係市町村)】(産業振興室、宮古セ)</p> <p>気仙地域ものづくり人材育成支援事業 地経費：市町村連携枠【連携(大船渡地区3市町)】(大船渡地域振興セ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業見学会や出前授業等の実施に係る学校・企業との調整、ガイドブックの作成等を実施 就業支援員等の学校・企業訪問による丁寧なフォローアップや、学校・企業動向や雇用情勢の把握など、職安や市町村との定期的な情報交換の実施 <p>○ 大学生と管内企業のマッチング支援による県内外からの人材確保</p> <p>沿岸地域就職促進事業 一部新規 地経費【再掲】【連携(関係市町村)】(産業振興室)</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏域外の大学への訪問・情報交換等の実施 新 県立大学宮古短期大学部との連携強化(宮古地域) <p>○ 市町村との連携による移住定住の促進</p> <p>いわて三陸地域連携移住定住促進事業 新規 広域【連携(管内9市町村)】(経営企画部、産業振興室、宮古・大船渡地域振興セ)</p> <p><情報発信の強化></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種広報媒体を活用した情報発信(令和6年度県立大学地域協働研究) 首都圏での移住PRセミナーの開催(管内9市町村に加え、久慈地域4市町村にも参加を呼び掛け) 移住体験ツアー、移住者との意見交換会の開催 <p><支援態勢の強化></p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域移住定住促進等連絡会議の開催 移住コーディネーター交流会の開催 <p>○ 隊員任期終了後の地域への定着の推進</p> <p>沿岸地域で活動する地域おこし協力隊[※]ト事業 地経費【連携(管内9市町村)】(経営企画部)</p>	
年齢層(歳)	男性(人)	女性(人)																																																												
0-4	-100	-100																																																												
5-9	-100	-100																																																												
10-14	-100	-100																																																												
15-19	-1000	-1000																																																												
20-24	-1000	-1000																																																												
25-29	-200	-200																																																												
30-34	-200	-200																																																												
35-39	-200	-200																																																												
40-44	-200	-200																																																												
45-49	-200	-200																																																												
50-54	-200	-200																																																												
55-59	-200	-200																																																												
60-64	-200	-200																																																												
65-69	-200	-200																																																												
70-74	-200	-200																																																												
75-79	-200	-200																																																												
80-84	-200	-200																																																												
85-89	-200	-200																																																												
90-	-200	-200																																																												




現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>② 多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上 働 き 方 改 革 の 推 進 や 各 産 業 分 野 に お け る 労 働 環 境 の 向 上 等</p> <p>○ 女性や若者が働きやすい魅力ある多様な雇用の場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域では進学や就職による女性や若者の人口流出により、各産業分野で担い手不足が課題 <p>⇒ 女性や若者等が働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を増やし、管内企業の魅力を高めることが必要</p> <p>⇒ 沿岸圏域の地域特性に応じた各産業分野のDXの推進などにより、働きやすい魅力ある多様な雇用の場の創出が必要</p> <div data-bbox="125 703 640 1054"> <p>カイゼン研修会</p> </div> <div data-bbox="535 1048 1021 1415"> <p>ラジコン草刈機実演会</p> </div>	<p>○ 沿岸圏域における働き方改革の推進(「いわてさんりく働き方改革推進運動」)</p> <p>本庁予算 [再掲] (産業振興室、保健福祉環境部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性や若者に魅力のある雇用・労働環境作りを進めるため、「いわて働き方改革推進運動」、「いわて女性活躍企業等認定」、「いわて子育てにやさしい企業等認証」の普及活動を強化 <p>○ 各産業分野における担い手確保</p> <p>建設業若者入職促進事業</p> <p>地経費【独自】(土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学生及び高校生を対象に現場見学会、出前講座及びICT建設機械等を用いた最新技術体験学習の実施 <p>林業従事者の確保</p> <p>本庁予算 (農林部、宮古林務室、岩泉林務、大船渡農林セ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業へ新規参入した建設業者等に対して、スキルアップのための技術研修等を実施 高校生を対象とした林業体験や就職相談会での林業就業のPRを実施 <p>など</p> <p>○ 各産業分野における作業性の向上・スマート農業等の推進</p> <p>漁業担い手確保・経営力強化支援事業</p> <p>地経費【独自】(水産部)</p> <ul style="list-style-type: none"> カイゼン研修会、アシストスーツ体験会の開催 一新 <p>宮古地域園芸経営体育成事業</p> <p>地経費【独自】(宮古農林振興セ・農普セ)</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート農業技術の活用に向けた専門家指導の実施 新規栽培志向者を対象とした現地見学会の実施 	



現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>③ <u>ニューヨーク・タイムズへの掲載を契機とした交流人口・関係人口の拡大</u> 沿岸ならではの地域資源を活用した交流人口・関係人口の拡大</p> <p>○ 豊富な地域資源と整備された新たな交通ネットワークや様々なつながりを生かした広域観光等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型クルーズ船の寄港の再開、盛岡市のニューヨーク・タイムズ紙への掲載などにより、インバウンドが回復傾向 令和6年度は宮古港に9回（外国船8回、本邦船1回）、大船渡港に2回（本邦船2回）のクルーズ船入港を予定 令和6年4月に三陸鉄道が開業40周年、6月に全線開通5周年を迎える「みちのく潮風トレイル」は、英紙タイムズや米紙ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）でも取り上げられ、国内外からの誘客の好機 <p>⇒ インバウンドの回復と拡大に向けた情報発信、受入体制強化、広域周遊促進を図る取組が必要</p> <p>[クルーズ船の寄港数（単位：回）]</p>  	<p>○ クルーズ船寄港に対応した観光誘客・受入促進 クルーズ船広域周遊促進事業 地経費【連携(宮古市)】（宮古地域振興セ） 気仙地区交流人口拡大事業^{新規} 地経費【連携(大船渡市)】（大船渡地域振興セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> クルーズ船寄港時のおもてなし活動の実施（宮古港、大船渡港） 旅行会社等の訪問によるオプションツアーの提案 <p>○ SNSを活用した誘客促進 三陸観光キャンペーン展開事業 地経費【独自】（産業振興室）</p> <ul style="list-style-type: none"> JR重点販売地域指定、三陸鉄道開業40周年及びみちのく潮風トレイル全線開通5周年とも連動したSNSを活用した観光キャンペーンの実施 <p>○ みちのく潮風トレイル・三陸ジオパークを活用した国内外からの誘客拡大 みちのく潮風トレイル・三陸ジオパーク活用インバウンド推進事業^{新規} 地経費【連携(管内9市町村)】（宮古地域振興セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 欧米の旅行会社、メディアを対象としたFAMツアーの開催による海外旅行代理店等の商品造成の推進 盛岡から三陸へのアクセスマップ（英語）の作成 インバウンド向け情報サイトMATCHAへの記事掲載 「みちのく潮風トレイルセミナー」の開催 <p>みちのく潮風トレイル全線開通5周年を記念した誘客促進事業^{新規} 地経費：市町村事業（宮古地域振興セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> みちのく潮風トレイル全線開通5周年に合わせて更なる魅力発信を実施 	

現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
(3) 少子化・社会減対策のプラスワン		
<p>① 市町村や地域的な少子化対策（少子化対策のプラスワン）</p> <p>○ 地域の実情に応じた少子化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性人口の減少や有配偶率の低下に伴い、出生数は、1995年（H7）と比較すると約6割減少 <p>⇒ 地域の少子化の要因を的確に把握・分析し、課題解決に向けて地域の実情に応じた効果的な対応策の検討が必要</p> <p>② 社会減対策に関する取組の支援・強化（社会減対策のプラスワン）</p> <p>○ 市町村との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少は沿岸圏域における喫緊かつ重要な課題 人口減少対策については、各市町村でそれぞれ取り組んでいるところであるが、全県的な最重要課題であり、県が市町村や地域と連携して支援を強化する必要がある 特に、小規模町村に対しては、人的・財政的支援を一体的に行って、伴走型支援が必要 <p>⇒ 多様な主体と連携・協働し、地域の特性を踏まえた対策を講じていくことが必要</p> <p>特に、住民に最も身近な市町村と連携・協働し、一体となった人口減少対策が必要</p>  <p>沿岸圏域移住定住促進等連絡会</p>	<p>○ 地域課題分析型少子化対策支援事業ワークショップへ参加 本庁予算【連携(田野畑村)】 (経営企画部、保健福祉環境部、宮古地域振興セ、宮古保健福祉環境セ)</p> <p>・ 少子化対策に取り組む町村に対して、国の少子化対策評価ツールを活用した現状・課題分析を行い、地域の実情に合わせた施策を展開できるよう 伴走型支援を実施(対象町村：当管内では田野畑村)</p> <p>○ 市町村との連携による移住定住の促進 いわて三陸地域連携移住定住促進事業 新規 広域 [再掲]【連携(管内9市町村)】 (経営企画部、産業振興室、宮古・大船渡地域振興セ)</p> <p>・ 「沿岸圏域移住定住促進等連絡会議」の開催による沿岸局と市町村の連携強化、他</p> <p>○ 地域経営推進費「市町村連携枠」及び「小規模町村支援枠」の活用等による広域局と市町村が連携した人口減少対策の推進 地経費：市町村連携枠</p> <ul style="list-style-type: none"> さんりく結婚応援支援事業 一部新規 [再掲] 【連携(管内9市町村)】 宮古・下閉伊モノづくり産業人材確保・育成事業 一部新規 [P 16 掲載] 【連携(宮古地区4市町村)】 気仙地域ものづくり人材育成支援事業 一部新規 [再掲] 【連携(大船渡地区3市町)】 沿岸地域市町村脱炭素化推進支援事業 新規 [P 12 掲載] 【連携(宮古地区4市町村)】 三陸ジビエ産地確立支援事業 [P 23 掲載] 【連携(管内9市町村)】 <p>地経費：小規模町村支援枠</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代応援遊具整備事業 新規【連携(田野畑村)】 住田町については、県への要望事業提出に向けて検討中 	



2 第2期地域振興プランの推進

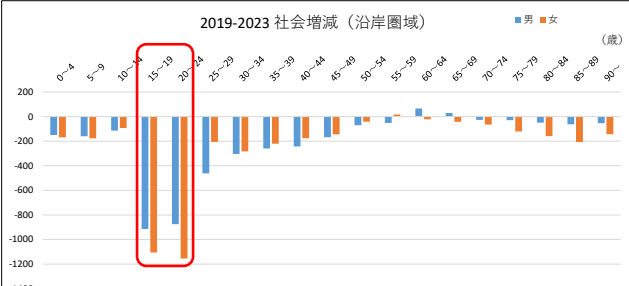

3つの振興施策の基本方向（Ⅰ安全、Ⅱ暮らし、Ⅲ産業）と15の重点施策項目により推進




地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																		
I 安全 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域																					
<p>1 復興・伝承（復興まちづくりを進め、東日本大震災津波の教訓を伝えます）</p>   <p>閉伊川水門（宮古市）</p>	<p>(1) 復興まちづくりの基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波防災施設は1施設を除き完成 ⇒ 未完成の復旧・復興工事について早期の完成に向けて事業を推進することが必要 <p>■海岸保全区域 (単位：箇所。%)</p> <table border="1" data-bbox="533 592 1149 762"> <thead> <tr> <th rowspan="3">計画 箇所数</th> <th colspan="4">完成箇所数（累計）</th> </tr> <tr> <th colspan="2">令和4年度末</th> <th colspan="2">令和5年度末</th> </tr> <tr> <th>箇所数</th> <th>完成率</th> <th>箇所数</th> <th>完成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52</td> <td>50</td> <td>96%</td> <td>51</td> <td>98%</td> </tr> </tbody> </table>	計画 箇所数	完成箇所数（累計）				令和4年度末		令和5年度末		箇所数	完成率	箇所数	完成率	52	50	96%	51	98%	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津波防災施設の復旧・整備 本庁予算（宮古土木セ） <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波で被害を受けた津波防災施設の残る1施設の復旧・整備を推進（閉伊川水門：令和8年度完成予定） ○ 水門の自動閉鎖化 本庁予算（宮古土木セ） <ul style="list-style-type: none"> 土木工事の進捗と合わせ、自動閉鎖化を推進（閉伊川水門） 	安全・安心
計画 箇所数	完成箇所数（累計）																				
	令和4年度末		令和5年度末																		
	箇所数	完成率	箇所数	完成率																	
52	50	96%	51	98%																	
	<p>(2) 東日本大震災津波の教訓の伝承と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波伝承館の来館者数は95万人を突破（R6年4月2日時点） 東日本大震災津波から13年が経過し、震災の記憶の風化や関心の低下が懸念 ⇒ 津波伝承館等の訪問の契機を生かしながら、沿岸圏域全体での教訓の伝承と効果的な情報発信が必要  <p>震災教訓伝承発信ガイドセミナー（陸前高田市）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語り部団体等の育成支援 震災教訓伝承発信事業 地経費【独自】（経営企画部） <ul style="list-style-type: none"> 語り部団体等の育成、交流、連携の推進（宮城県を含む広域での震災語り部ガイドの意見交換会等） ○ 復興情報の発信 同事業 地経費【独自】（経営企画部） <ul style="list-style-type: none"> SNS、動画を活用した沿岸圏域の復興の姿の情報の発信 ○ 水門・防潮堤等の見学ツアー （土木部） <ul style="list-style-type: none"> 「いのちをつなぐ未来館」と連携した水門・防潮堤の役割や防災意識の必要性の情報発信 	安全・安心																		

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p data-bbox="114 217 371 363">2 自然災害対策 (自然災害に強いまちづくりを進めます)</p> <div data-bbox="114 395 371 485">  </div>	<p data-bbox="403 217 1151 512">(1) 災害に強い道路ネットワークの構築</p> <ul data-bbox="459 252 1151 475" style="list-style-type: none"> 平成 28 年台風第 10 号による豪雨災害で、国道 106 号、国道 455 号など緊急輸送道路が各地で寸断 ⇒ 災害発生時における救援物資の輸送や救援活動が円滑に行われるよう、道路等の整備が必要 <p data-bbox="403 517 1151 874">(2) 洪水・土砂災害対策の推進</p> <ul data-bbox="459 552 1151 810" style="list-style-type: none"> 気候変動に伴い洪水・土砂災害が頻発・激甚化 ⇒ 洪水・土砂災害の被害から生命や財産を守るため、早期の施設整備が必要 <div data-bbox="792 603 1151 874">  <p data-bbox="824 635 1061 660">河川改修 (岩泉町)</p> </div> <p data-bbox="403 879 1151 1481">(3) 「自助・共助・公助」を組み合わせた防災・減災対策の推進</p> <ul data-bbox="459 954 1151 1098" style="list-style-type: none"> 大震災津波発災からの時間の経過に伴い、住民の防災意識の低下が懸念 ⇒ 本県最大クラスの地震・津波浸水想定等を踏まえた防災・減災対策の推進が必要 	<p data-bbox="1182 217 1957 496">○ 緊急輸送道路等の整備 本庁予算 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <div data-bbox="1234 288 1944 496"> <ul style="list-style-type: none"> 橋梁の耐震化 古廟橋 (大槌町)、轆轤石橋 (大船渡市) 等 通行危険箇所あい路の解消 (道路改良等) (国) 340 号和井内～押角 (宮古市) 等 </div> <p data-bbox="1182 517 1957 667">○ 洪水災害対策の推進 本庁予算 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <div data-bbox="1234 592 1944 667"> <ul style="list-style-type: none"> 河川改修 (二級河川小本川、気仙川等) 河道掘削、立木伐採 </div> <p data-bbox="1182 703 1957 853">○ 土砂災害対策の推進 本庁予算 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <div data-bbox="1234 783 1944 853"> <ul style="list-style-type: none"> 砂防：天神の沢 (3) (釜石市) 等 急傾斜地崩壊対策：神明前 (大船渡市) 等 </div> <p data-bbox="1182 874 1957 1024">○ 津波浸水想定等を踏まえた減災対策 本庁予算 (経営企画部)</p> <div data-bbox="1234 954 1944 1024"> <ul style="list-style-type: none"> 県と市町村の連携により、地域の実情に応じた、より実効性の高い減災対策の推進 </div> <p data-bbox="1182 1061 1957 1332">○ 防災知識の普及、防災意識の向上の推進 本庁予算 (経営企画部)</p> <div data-bbox="1234 1145 1944 1332"> <ul style="list-style-type: none"> 県・市町村の連絡会議への参画等による地震・津波減災対策の推進 市町村防災担当者会議等の機会を利用し、地域コミュニティでの防災訓練等における地域防災サポーターの活用を促進 </div> <p data-bbox="1182 1369 1957 1406">○ 水門・防潮堤等の見学ツアー [再掲] (土木部)</p>	<p data-bbox="1984 217 2150 252">安全・安心</p> <p data-bbox="1984 517 2150 552">安全・安心</p> <p data-bbox="1984 879 2150 914">安全・安心</p>



地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
Ⅱ 暮らし 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域			
<p>3 被災者支援 (被災者一人ひとりに寄り添い、心身ともに健やかで安心な暮らしができる環境をつくりまします)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div data-bbox="107 595 197 683"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div data-bbox="203 595 293 683"> <p>11 自立支援のあるまちづくりを</p>  </div> <div data-bbox="300 595 389 683"> <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>  </div> </div>	<p>(1) 被災者の健康づくりとこころのケアの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 恒久的な住宅への転居に伴う生活環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による生活様式の変化、外出機会や活動量の減少 ⇒ 心身の疲労、体力の低下などの健康面での課題への支援が必要  <p style="text-align: center; font-size: small;">健康づくり講座</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣改善や健康体力づくりの支援 本庁予算 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ) <ul style="list-style-type: none"> 体組成計活用の体験交流型健康づくり講座の開催や被災者支援機関・団体等への健康管理機器の貸与及び活用の支援 健康づくりキャンペーンの実施 ○ こころのケアの推進 本庁予算 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ) <ul style="list-style-type: none"> 被災者のこころに寄り添う取組、人材育成などを関係機関と連携して実施 地域で見守り支え合う傾聴ボランティアの育成と活動の支援 自殺対策に係る相談支援実務者連絡会開催 	
	<p>(2) コミュニティの形成や活性化に向けた取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害公営住宅の約9割で自治会等を組織 ⇒ 災害公営住宅などの新たな住環境におけるコミュニティの形成や活性化に向けた支援の継続が必要  <p style="text-align: center; font-size: small;">芸能を活用したコミュニティ活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴う利用者数の減少等により地域公共交通の維持・確保が懸念材料 ⇒ 住民の日常生活を支える交通手段の確保・維持が重要であり、市町村が行う地域公共交通対策への支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土芸能を活用した地域コミュニティの活性化 三陸の芸能を生かした地域活性化事業 地経費【独自】(経営企画部) <ul style="list-style-type: none"> 沿岸地域の郷土芸能の担い手と国内外で活躍する芸術家との交流機会の創出やイベントの開催 ○ 「やさしい日本語」を活用した地域コミュニティの活性化 国際交流・多文化共生推進事業 地経費【独自】(経営企画部) <ul style="list-style-type: none"> 外国人、障がい者、高齢者に配慮したコミュニケーションを推進するための研修会等の開催 ○ コミュニティ助成事業、NPO等による復興支援事業の活用 本庁予算 (経営企画部) <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通の維持・確保 ○ 地域公共交通の維持・確保 本庁予算 (経営企画部、宮古・大船渡地域振興セ) <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化協議会等への参画等を通じ、課題解決に向けた情報共有や支援 	<div style="background-color: #ff00ff; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 自然減・社会減対策 </div>




地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>4 生活環境（安心で快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります）</p> 	<p>(1) 食の安全・安心の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店等における食中毒等の事故が依然として発生 ⇒ 食品関係事業者への監視・指導、住民の食の安全性に対する関心を一層高めることが必要 <p>(2) 動物愛護思想の普及と動物のいのちを大切に する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多頭飼育などの不適切な飼養に起因する動物の引き取りが続いている ⇒ 引き取りを減少させるため、動物愛護の取組の推進が必要 ・ 引き取り後の子猫の育成を担当職員のみで行うことが困難であり、動物愛護団体や、一般のボランティアに頼るところが大きい ⇒ 動物愛護団体の負担軽減やボランティアの育成支援が必要  <p>動物ふれあいイベント</p>	<p>○ 食の安全・安心の確保の推進</p> <p>本庁予算（保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品衛生法に基づく監視・指導及び食品の除去検査や食品関係事業者を対象とした食品表示やHACCPに関する講習会を実施 <p>○ 動物愛護の取組等の推進</p> <p>沿岸地域人と動物のふれあい事業 一部新規</p> <p>地経費【連携(管内9市町村)】 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物愛護思想の普及啓発や災害時の動物救護対策のため、犬猫譲渡会、動物ふれあいイベント、ペットとの同行避難訓練を実施 ・ 動物愛護団体、一時預かりボランティアと連携した子猫の育成、譲渡の促進 ・ 多頭飼育問題対策に係る管轄市町村との連携会議等の開催 	<p>安全・安心</p>

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																										
	<p>(3) 若者・女性などの活躍推進と地域づくり人材の育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者・女性（特に15～24歳）の多くが進学・就職を機に人口流出 ⇒ 将来を見据えた活力ある地域づくりに向け、次代を担う若者・女性が地域を理解し、将来も三陸に住み続ける意識の醸成が必要  <p>2019-2023 社会増減（沿岸圏域）</p> <p>(人) 出典：住民基本台帳人口移動報告年報データを沿岸局が加工</p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町村が地域おこし協力隊制度を活用 <table border="1" data-bbox="528 890 999 1023"> <caption>【県内の地域おこし協力隊（圏域別）】※令和5年9月時点</caption> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>数</th> <th>圏域</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>盛岡</td> <td>34</td> <td>県南</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>沿岸</td> <td>73</td> <td>県北</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>合計</td> <td>213</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 大槌町及び岩泉町では、県内2、3例目となる「特定地域づくり事業協同組合」の設立 ⇒ 協力隊員の任期終了後の定住も視野に活動支援が必要 沿岸圏域では人口が減少している一方、在留外国人数は増加傾向 令和6年4月に「釜石市国際外語大学校」が開校し、10月には外国人を対象とした日本語学科が開設予定 ⇒ 外国人県民等が増加傾向にあり、多文化共生社会の実現に向けた取組が必要 	圏域	数	圏域	数	盛岡	34	県南	40	沿岸	73	県北	66			合計	213	<p>○ 児童・生徒等を対象とした地域への郷土愛を持つ人材の育成</p> <p>みらいの三陸ぐらし創造事業</p> <p>地経費【連携(釜石地区2市町)】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域の研究機関、三陸鉄道等と連携した三陸の地域資源への理解促進を図るイベントの開催(釜石市、大槌町と連携) 三陸地域で地域づくり活動、余暇活動(スポーツ、郷土芸能等)に取り組みながら暮らすライフスタイルを提案する冊子の配付 <p>○ 隊員相互の連携・交流ネットワーク形成支援</p> <p>沿岸地域で活動する地域おこし協力隊サポート事業</p> <p>地経費【再掲】【連携(管内9市町村)】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会等の開催による隊員の相互交流の促進、OB・OG等による現役隊員の活動支援  <p>地域おこし協力隊交流会</p> <p>○ 沿岸圏域の住民の多文化共生に係る理解促進</p> <p>国際交流・多文化共生推進事業</p> <p>地経費【独自】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在留外国人と住民の円滑なコミュニケーションを推進するため、住民を対象とした研修会等の開催 <p>【在留外国人の状況】</p> <p>※令和5年6月時点</p> <table border="1" data-bbox="1832 1267 2119 1474"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>釜石</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>大船渡</td> <td>626</td> </tr> <tr> <td>圏域合計</td> <td>1,415</td> </tr> </tbody> </table>	地区	人数	宮古	319	釜石	470	大船渡	626	圏域合計	1,415	<p>自然減・社会減対策</p>
圏域	数	圏域	数																										
盛岡	34	県南	40																										
沿岸	73	県北	66																										
		合計	213																										
地区	人数																												
宮古	319																												
釜石	470																												
大船渡	626																												
圏域合計	1,415																												



地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																													
<p>5 自然環境（良好な自然環境の保全・活用と持続可能な生活環境の整備を進めます）</p>   <p>海岸清掃活動</p>	<p>(1) 自然環境の保全と活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波など度重なる災害により環境活動フィールドや機会が減少 ⇒ 新たに環境保全活動に取り組む団体や人材の確保、関係機関との協働や団体間の連携促進が必要 <p>(2) 再生可能エネルギーの導入促進などによる地球温暖化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動による環境変化への懸念 ⇒ エコライフの実践に係る普及啓発や再生可能エネルギー導入の促進など、住民や事業者など様々な主体による温室効果ガス排出量削減のための取組の支援・推進が必要 地域の実情に応じた脱炭素化推進施策を展開が求められている ⇒ 官民の一体的な機運醸成や、市町村における温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定促進など、GXを推進し、カーボンニュートラルと持続可能な新しい成長を目指す取組が必要 <p>(その他の主要な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ツキノワグマの出没や被害の増加 ⇒ 市町村及び関係機関と連携を強化し、被害防止に向けた取組への支援が必要  <p>クマの市街地出没</p>	<p>○ 環境活動団体の活性化、環境保全意識の醸成等沿岸広域圏環境学習推進事業</p> <p>地経費【独自】（保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル等の地域資源を活用し、地域の魅力の発見と海洋ごみ等の地域課題に対する環境学習活動の取組支援 <p>○ 温室効果ガス排出削減の普及啓発と機運醸成</p> <p>本庁予算（保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いわて地球環境にやさしい事業所」認定制度への事業者参加や「地球温暖化を防ごう隊」への小学校参加の促進 <p>○ 脱炭素化施策に取り組む市町村の伴走型支援や地域の脱炭素化の機運醸成</p> <p>沿岸地域市町村脱炭素化推進支援事業 新規</p> <p>地経費：市町村連携枠【連携(宮古地区4市町村)】（宮古保健福祉環境セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内市町村や企業、住民等に向けた脱炭素化シンポジウムの開催（脱炭素先行地域に選定された宮古市で開催） 市町村職員向け勉強会の開催等による温暖化対策実行計画の策定及び関連取組の促進 <p>○ 県市町村GX推進会議、海洋再生可能エネルギーの導入推進に係る検討チームへの参画</p> <p>本庁予算（経営企画部、保健福祉環境部等）</p>	<p>G X</p> <p>G X</p>																													
	<p>■ ツキノワグマの出没数・人身被害数・捕獲数の状況</p> <table border="1" data-bbox="649 1276 1153 1460"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>範囲</th> <th>出没数</th> <th>人身被害数</th> <th>捕獲数*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>全県</td> <td>2,602 件</td> <td>14 人</td> <td rowspan="2">461 頭</td> </tr> <tr> <td>沿岸圏域</td> <td>657 件</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>全県</td> <td>2,178 件</td> <td>24 人</td> <td rowspan="2">419 頭</td> </tr> <tr> <td>沿岸圏域</td> <td>602 件</td> <td>10 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R5</td> <td>全県</td> <td>5,877 件</td> <td>49 人</td> <td rowspan="2">897 頭</td> </tr> <tr> <td>沿岸圏域</td> <td>1,239 件</td> <td>13 人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	範囲	出没数	人身被害数	捕獲数*	R3	全県	2,602 件	14 人	461 頭	沿岸圏域	657 件	3 人	R4	全県	2,178 件	24 人	419 頭	沿岸圏域	602 件	10 人	R5	全県	5,877 件	49 人	897 頭	沿岸圏域	1,239 件	13 人	<p>○ 人とツキノワグマとの共存</p> <p>本庁予算（保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ツキノワグマ地区管理協議会の開催 電気柵やセンサーカメラの市町村への貸与 狩猟免許更新試験、狩猟者登録の際の事故防止研修会の開催 <p>※捕獲数は全県のみ、令和5年度捕獲数は速報値</p>	<p>安全・安心</p>
年度	範囲	出没数	人身被害数	捕獲数*																												
R3	全県	2,602 件	14 人	461 頭																												
	沿岸圏域	657 件	3 人																													
R4	全県	2,178 件	24 人	419 頭																												
	沿岸圏域	602 件	10 人																													
R5	全県	5,877 件	49 人	897 頭																												
	沿岸圏域	1,239 件	13 人																													

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>6 子ども・子育て・高齢者等(安心して子どもを産み育てることができ、高齢者や障がい者がいきいきと、健やかに暮らせる社会をつくりま</p> <p>す)</p> 	<p>(1) 結婚支援や、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の流出、結婚・出産の適齢人口が減少や未婚率の上昇等により合計出生率が低い水準 ⇒ 住民が安心して家庭を持ち、子どもを産み育てることができる環境整備を図る取組が必要 <p>[未婚率の推移 (単位: %)]</p>  <p>[合計特殊出生率の推移]</p>  <p>出典: 国勢調査</p>	<p>○ 結婚を望む男女への出会いの機会等の支援</p> <p>さんりく結婚応援支援事業 一部新規</p> <p>地経費: 市町村連携枠 [再掲] [連携(管内9市町村)] (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p>   <p>○ 市町村と連携した妊産婦への子育て支援等</p> <p>本庁予算 [再掲] (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p>	<p>自然減・社会減対策</p>
	<p>(2) 障がい者の自立支援や社会参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者が必要なサービスを受けながら希望する地域で安心して生活できることが求められている ⇒ 就労・生活支援体制の充実が必要 	<p>○ 就労・生活支援体制等の拡充支援</p> <p>本庁予算 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者自立支援協議会を通じた地域での受入体制整備支援等による障がい者の自立支援や社会参加促進体制の整備 ユニバーサルデザインの普及・利活用促進に向けた、電子マップへの登録促進・利用周知、「ひとにやさしい駐車場」の拡大・利用証制度の普及啓発 </div>	


地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																	
<p>7 医療・健康(安心で健やかに暮らせる地域医療の確保と健康づくりを進めます)</p> 	<p>(1) 医療・介護人材の確保・育成や保健・医療・介護・福祉の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師偏在指標において沿岸圏域は低い水準にあるとともに、介護職の求人倍率が高いなど、医療・介護人材が不足している状況 ⇒ 地域において医療・介護人材の確保・育成のため、生徒に対し早期からの進路選択に資する情報提供や動機付けが必要 <p>■医師偏在指標 (R5.8厚生労働省) ※全国335二次医療圏の順 (県は都道府県順)</p> <table border="1" data-bbox="398 563 1137 679"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>気仙</th> <th>岩手県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指数</td> <td>107.8</td> <td>134.5</td> <td>144.1</td> <td>182.5</td> <td>255.6</td> </tr> <tr> <td>全国順位</td> <td>335位</td> <td>321位</td> <td>307位</td> <td>47位</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		釜石	宮古	気仙	岩手県	全国	指数	107.8	134.5	144.1	182.5	255.6	全国順位	335位	321位	307位	47位	—	<p>○ 医療・介護人材の確保</p> <p>本庁予算(保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・介護従事者を目指す中高生と医療・介護従事者を目指す現役大学生や従事者等との懇談、施設見学等の実施 医大生の研修及び臨床研修医の受入 <p>■有効求人倍率 (R5.7岩手労働局)</p> <table border="1" data-bbox="1178 563 1879 679"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>気仙</th> <th>岩手県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護職</td> <td>2.70</td> <td>2.14</td> <td>1.21</td> <td>2.27</td> </tr> <tr> <td>全産業</td> <td>1.05</td> <td>0.78</td> <td>0.82</td> <td>1.10</td> </tr> </tbody> </table>		釜石	宮古	気仙	岩手県	介護職	2.70	2.14	1.21	2.27	全産業	1.05	0.78	0.82	1.10	<p>自然減・社会減対策</p> <p>安全・安心</p>
	釜石	宮古	気仙	岩手県	全国																															
指数	107.8	134.5	144.1	182.5	255.6																															
全国順位	335位	321位	307位	47位	—																															
	釜石	宮古	気仙	岩手県																																
介護職	2.70	2.14	1.21	2.27																																
全産業	1.05	0.78	0.82	1.10																																
<p>8 スポーツ・文化(スポーツ・文化を楽しみ、一人ひとりが豊かな生活を送ることができる活力あふれる地域をつくります)</p> 	<p>(1) 住民が生涯にわたりスポーツに親しむ取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 英紙タイムズ「日本で訪れるべき場所14選」に選定された「みちのく潮風トレイル」が6月に全線開通5周年 ⇒ トレイルを活用したスポーツ体験の促進が必要 <p>(2) 教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ2019™釜石開催などによるスポーツへの関心の高まり ⇒ 釜石シーウェイブスRFCなどと連携し、この高まりを生かした更なるスポーツ振興の推進が必要 <p>(3) 民俗芸能や若者の創意あふれる文化芸術活動など、地域の多様な文化や芸術活動を生かした地域活性化の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域では、神楽・虎舞などの郷土芸能が数多く存在し、被災者の心の支えや地域の再生に大きく寄与 ⇒ 文化芸術に触れる機会や交流の場の創出、文化芸術に携わる人材の育成等による地域活性化の取組の推進が必要 	<p>○ 誰もが気軽にスポーツを楽しめる機会の創出</p> <p>三陸スポーツ推進事業 地経費【独自】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> トレイル等の誰もが気軽に参加できるスポーツ体験会の開催 <p>○ プロスポーツチームと連携した「ラグビー県いわて」の推進</p> <p>同事業 地経費【連携(釜石市)】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜石シーウェイブスRFCのファン拡大に向けたイベント開催への協力等による交流人口の拡大 <p>○ 文化芸術情報の発信と活動の担い手の育成支援</p> <p>三陸の芸能を生かした地域活性化事業 地経費【再掲】【独自】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸地域の郷土芸能の担い手と国内外で活躍する芸術家との交流機会の創出やイベントの開催 	<p>自然減・社会減対策</p> <p>自然減・社会減対策</p>																																	

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																																
<p>Ⅲ 産業 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域</p>																																																			
<p>9 ものづくり産業（生産性と付加価値の高いものづくり産業等を育てます）</p>	<p>(1) 中小企業の生産性と付加価値の向上による競争力の高いものづくり産業等の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域の主要産業である水産加工業者はエネルギー価格・物価高騰、主要魚種の不漁などの影響により厳しい経営環境 <p>⇒ 水産加工業者やその取引先の経営力強化を図ることが必要</p>	<p>○ 水産加工業の経営力強化・生産性向上の支援 三陸水産加工業等支援事業費</p> <p style="text-align: right;">広域【独自】（産業振興室）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> Pwc Japan グループと連携し、管内の水産加工業者及びその取引先である地元の飲食・宿泊・小売事業者等の企業経営に関する支援を実施 </div>	<p>主要産業の振興</p>																																																
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>  </div> </div>	<p>(2) 最新技術の活用や経営革新などによる水産加工業をはじめとするものづくり産業等の企業経営力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波により被災した事業者の86%が事業を再開したものの、エネルギー価格・物価高騰等により厳しい経営環境 水産加工業を中心とした食料品製造業は、沿岸地域の製造品出荷額の多くを占めており、製造業分野における地域の基幹産業となっている <p>⇒ 厳しい経営環境にある事業者が事業継続できるよう経営改善の支援が必要</p> <p>⇒ 主要な産業である水産加工業の経営力強化の支援、経営革新等の新たな事業に取り組む企業数の増加、経営を担う企業人材の育成が必要</p>	<p>○ ものづくり産業の経営力強化 ものづくり産業等経営力強化支援事業</p> <p style="text-align: right;">地経費【独自】（産業振興室）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 経営支援アドバイザーによる経営課題解決のための伴走支援の実施 中小機構支援メニューの管内企業の活用促進 商工団体との連携による「産業革新セミナー」、「企業経営力強化セミナー」の実施 </div>																																																	
<p>■岩手県の工業（経済センサス、工業統計）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">2010(H22)年</th> <th colspan="3">2020 (R2) 年</th> </tr> <tr> <th>製造品出荷額 (万円)</th> <th>従業者数(人)</th> <th>製造品出荷額/1人 (万円)</th> <th>製造品出荷額 (万円)</th> <th>従業者数(人)</th> <th>製造品出荷額/1人 (万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県央</td> <td>27,626,011</td> <td>9,466</td> <td>2,918</td> <td>32,734,551</td> <td>14,942</td> <td>2,191</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>140,396,061</td> <td>49,645</td> <td>2,828</td> <td>174,417,354</td> <td>53,054</td> <td>3,288</td> </tr> <tr> <td>沿岸</td> <td>30,529,475</td> <td>14,480</td> <td>2,108</td> <td>30,178,896</td> <td>12,411</td> <td>2,432</td> </tr> <tr> <td>県北</td> <td>11,356,170</td> <td>8,048</td> <td>1,411</td> <td>12,099,095</td> <td>7,232</td> <td>1,673</td> </tr> <tr> <td>県計</td> <td>209,907,717</td> <td>81,639</td> <td>2,571</td> <td>249,429,896</td> <td>87,639</td> <td>2,846</td> </tr> </tbody> </table>					2010(H22)年			2020 (R2) 年			製造品出荷額 (万円)	従業者数(人)	製造品出荷額/1人 (万円)	製造品出荷額 (万円)	従業者数(人)	製造品出荷額/1人 (万円)	県央	27,626,011	9,466	2,918	32,734,551	14,942	2,191	県南	140,396,061	49,645	2,828	174,417,354	53,054	3,288	沿岸	30,529,475	14,480	2,108	30,178,896	12,411	2,432	県北	11,356,170	8,048	1,411	12,099,095	7,232	1,673	県計	209,907,717	81,639	2,571	249,429,896	87,639	2,846
	2010(H22)年				2020 (R2) 年																																														
	製造品出荷額 (万円)	従業者数(人)	製造品出荷額/1人 (万円)	製造品出荷額 (万円)	従業者数(人)	製造品出荷額/1人 (万円)																																													
県央	27,626,011	9,466	2,918	32,734,551	14,942	2,191																																													
県南	140,396,061	49,645	2,828	174,417,354	53,054	3,288																																													
沿岸	30,529,475	14,480	2,108	30,178,896	12,411	2,432																																													
県北	11,356,170	8,048	1,411	12,099,095	7,232	1,673																																													
県計	209,907,717	81,639	2,571	249,429,896	87,639	2,846																																													
<p>■沿岸圏域内主要業種別製造品出荷額（単位：万円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019 (R1) 年</th> <th>2020 (R2) 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圏域内計</td> <td>33,110,474</td> <td>30,178,896</td> </tr> <tr> <td>食料品</td> <td>9,011,975</td> <td>8,485,530</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼</td> <td>4,597,914</td> <td>4,068,968</td> </tr> <tr> <td>はん用</td> <td>4,189,970</td> <td>3,933,386</td> </tr> <tr> <td>電子</td> <td>2,747,431</td> <td>3,933,057</td> </tr> <tr> <td>窯業</td> <td>3,807,457</td> <td>3,430,144</td> </tr> <tr> <td>木材</td> <td>2,828,481</td> <td>2,390,021</td> </tr> </tbody> </table>					2019 (R1) 年	2020 (R2) 年	圏域内計	33,110,474	30,178,896	食料品	9,011,975	8,485,530	鉄鋼	4,597,914	4,068,968	はん用	4,189,970	3,933,386	電子	2,747,431	3,933,057	窯業	3,807,457	3,430,144	木材	2,828,481	2,390,021																								
	2019 (R1) 年	2020 (R2) 年																																																	
圏域内計	33,110,474	30,178,896																																																	
食料品	9,011,975	8,485,530																																																	
鉄鋼	4,597,914	4,068,968																																																	
はん用	4,189,970	3,933,386																																																	
電子	2,747,431	3,933,057																																																	
窯業	3,807,457	3,430,144																																																	
木材	2,828,481	2,390,021																																																	


地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
	<p>(3) 三陸地域の産業を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期的な経営戦略を展開していくための専門人材が不足している ・ 中小の製造業においては、計画的な人材育成を行うことが困難な事業者もある <p>⇒ 専門的な知識を習得した大卒者やU・Iターン者等の人材が必要</p> <p>⇒ 現場リーダーなど生産の中核を担う人材や将来の後継者育成が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿岸圏域の建設業では、就業者の高齢化が進み、離職者の増加が見込まれ、担い手の不足とそれに伴う技術力や生産性の低下が懸念 <p>⇒ 担い手の確保、生産性の向上が必要</p>	<p>○ DX等専門人材確保の支援 三陸水産加工業等支援事業費 [広域]【独自】(産業振興室)</p> <p>・ 人材の確保・育成セミナーの実施(テーマ:インターシッパ 活用の求人、DX等専門人材確保)</p> <p>○ 人材育成の支援 宮古・下閉伊モノづくり産業人材確保・育成事業 [地経費:市町村連携枠]【連携(宮古地区4市町村)】(宮古地域振興セ)</p> <p>気仙地域ものづくり人材育成支援事業 [一部新規] [地経費:市町村連携枠]【連携(大船渡地区3市町)】(大船渡地域振興セ)</p> <p>・ 宮古・下閉伊地区や大船渡地区のものづくりネットワーク組織と連携した人材育成や経営支援</p> <p>・ 経営者勉強会等を通じたコネクタ関連産業支援(宮古地区)</p> <p>○ 建設業の担い手の確保・生産性の向上 [本庁予算] (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>・ ICT 活用工事の発注拡大や週休二日工事の推進による生産性向上等</p>	<p>自然減・社会減対策</p> <p>DX</p> <p>主要産業の振興</p>
	<p>(4) 東日本大震災津波発災後の企業間のつながりや新たな交通ネットワークを生かした販路拡大と事業展開の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギー価格・物価高騰に伴う経営への影響が継続している事業者が多い ・ 食の商談会の出展者は、コロナ禍の影響により減少しているが、新規出展や商談成立件数は一定数を確保 <p>⇒ 新規顧客の開拓や出荷売上を上げていくためには、販路展開の取組が大事であるため、企業訪問等の取組により、事業者に対して商談会等への出展を促していくことが必要</p>	<p>○ 水産加工業取引先等の支援 三陸水産加工業等支援事業費 [広域]【独自】(産業振興室)</p> <p>・ 飲食・宿泊事業者等の企業経営支援</p> <p>○ 物産イベントの開催 三陸物産商品力向上・販売支援事業 [一部新規] [地経費]【独自】(産業振興室)</p> <p>三陸けせん販路拡大支援事業 [地経費]【連携(大船渡地区3市町)】(大船渡地域振興セ)</p> <p>・ 盛岡、仙台、首都圏での物産イベント等へ出展</p> <p>・ アドバイザー派遣等による販売力の向上 [一新]</p> <p>○ 交通ネットワークを活用した販路開拓 宮古地域食産業振興事業 [地経費]【連携(宮古地区4市町村)】(宮古地域振興セ)</p> <p>・ 新たな交通ネットワークを活用した低コスト物流実証試験、釜石・大船渡地域への横展開の検討</p>	<p>主要産業の振興</p>







地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																																																																									
<p>10 雇用（働く場の創出と地域に就業・定着できる環境をつくります）</p>   <p>小中学生の職業体験会 (みやっこタウン2023)</p>	<p>(1) 学生へのキャリア教育等による若者の定着促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内新規高卒者の就職状況は、県内就職率は72.4%と全県(71.1%)より高いものの、管内への就職率は47.3%と昨年度より低下し5割を切ったところ(令和5年度) 沿岸地域の高卒者数は年々減少(令和5年度1,069人)、大学進学率は年々増加(令和5年度48.4%) <p>⇒ 地域雇用を促進する取組が必要 ⇒ 企業の魅力や発信力の向上、学生の管内企業への理解を深める取組が必要</p> <p>・ 建設業の担い手の持続的、安定的確保への懸念 ⇒ 小中学生・高生が「建設業を知る」、「興味を持つ」機会が必要</p> <p>(2) U・Iターン、起業支援などによる移住・定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域では、若者・女性(特に15~24歳)の多くが進学・就職を機に圏域外に流出 なお、県外から管内市町村への移住者数及び相談件数は多くはないものの増加傾向 <p>⇒ 令和5年7月に設置した「沿岸圏域移住定住促進等連絡会議」による管内市町村との連携・協働により、地域の特性を踏まえた一層の社会減対策などの取組が必要</p>	<p>○ キャリア教育による若年層の定着支援 沿岸地域就職促進事業 地経費 [再掲] 【連携(宮古・釜石地区市町村)】(産業振興室、宮古セ)</p> <p>○ 気仙地域ものづくり人材育成支援事業 地経費 [再掲] 【連携(大船渡地区3市町)】(大船渡地域振興セ)</p> <p>■管内新規高卒者の就職率 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和3年3月卒</th> <th colspan="2">令和4年3月卒</th> <th colspan="2">令和5年3月卒</th> <th colspan="2">令和6年3月卒</th> </tr> <tr> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古</td> <td>78.4</td> <td>48.9</td> <td>73.8</td> <td>49.7</td> <td>72.2</td> <td>47.4</td> <td>67.2</td> <td>35.1</td> </tr> <tr> <td>釜石</td> <td>79.8</td> <td>68.1</td> <td>73.5</td> <td>52.0</td> <td>85.0</td> <td>66.3</td> <td>83.6</td> <td>67.2</td> </tr> <tr> <td>大船渡</td> <td>75.9</td> <td>58.6</td> <td>78.4</td> <td>54.6</td> <td>73.3</td> <td>53.3</td> <td>71.8</td> <td>51.3</td> </tr> <tr> <td>管内計</td> <td>78.0</td> <td>56.5</td> <td>74.9</td> <td>51.6</td> <td>76.0</td> <td>54.2</td> <td>72.4</td> <td>47.3</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>71.4</td> <td></td> <td>74.1</td> <td></td> <td>73.6</td> <td></td> <td>71.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■高校卒業者数及び大学等進学率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">高校卒業者数(人)</th> <th colspan="3">大学等進学率</th> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿岸</td> <td>1,288</td> <td>1,235</td> <td>1,069</td> <td>41.7%</td> <td>42.9%</td> <td>48.4%</td> </tr> <tr> <td>(参考)全県</td> <td>10,345</td> <td>10,017</td> <td>9,604</td> <td>45.4%</td> <td>46.7%</td> <td>47.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 建設業の担い手育成・確保、新規入職者の安定的な確保 建設業若者入職促進事業 地経費 [再掲] 【独自】 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>○ 市町村との連携による移住定住の促進 いわて三陸地域連携移住定住促進事業 ● 新規 広域 【連携(管内9市町村)】 (経営企画部、産業振興室、宮古・大船渡地域振興セ)</p> <p>○ 大学生と管内企業のマッチング支援による県内外からの人材確保 沿岸地域就職促進事業 ● 一部新規 地経費 [再掲] 【連携(宮古・釜石地区市町村)】(産業振興室)</p> <p>○ 隊員任期終了後の地域への定着の推進 沿岸地域で活動する地域おこし協力隊[°]ト事業 地経費 [再掲] 【連携(管内9市町村)】(経営企画部)</p>		令和3年3月卒		令和4年3月卒		令和5年3月卒		令和6年3月卒		県内	管内	県内	管内	県内	管内	県内	管内	宮古	78.4	48.9	73.8	49.7	72.2	47.4	67.2	35.1	釜石	79.8	68.1	73.5	52.0	85.0	66.3	83.6	67.2	大船渡	75.9	58.6	78.4	54.6	73.3	53.3	71.8	51.3	管内計	78.0	56.5	74.9	51.6	76.0	54.2	72.4	47.3	全県	71.4		74.1		73.6		71.1			高校卒業者数(人)			大学等進学率			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	沿岸	1,288	1,235	1,069	41.7%	42.9%	48.4%	(参考)全県	10,345	10,017	9,604	45.4%	46.7%	47.6%	<p>自然減・社会減対策</p> <p>DX</p> <p>自然減・社会減対策</p>
	令和3年3月卒			令和4年3月卒		令和5年3月卒		令和6年3月卒																																																																																				
	県内	管内	県内	管内	県内	管内	県内	管内																																																																																				
宮古	78.4	48.9	73.8	49.7	72.2	47.4	67.2	35.1																																																																																				
釜石	79.8	68.1	73.5	52.0	85.0	66.3	83.6	67.2																																																																																				
大船渡	75.9	58.6	78.4	54.6	73.3	53.3	71.8	51.3																																																																																				
管内計	78.0	56.5	74.9	51.6	76.0	54.2	72.4	47.3																																																																																				
全県	71.4		74.1		73.6		71.1																																																																																					
	高校卒業者数(人)			大学等進学率																																																																																								
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																																																																						
沿岸	1,288	1,235	1,069	41.7%	42.9%	48.4%																																																																																						
(参考)全県	10,345	10,017	9,604	45.4%	46.7%	47.6%																																																																																						

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																													
	<p>(3) 潜在的な労働力の掘り起こしや多様な形態の就業の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴う労働力の不足への懸念 <p>⇒ 女性や子育て世代などが働きやすい職場環境づくりに取り組む企業を増やし、管内企業の魅力を高めることにより、人口減少対策を進めていく必要</p>	<p>○ 沿岸圏域における働き方改革の推進（「いわてさんらしく働き方改革推進運動」） <small>本庁予算</small> [再掲]（産業振興室、保健福祉環境部）</p>	<p>自然減・社会減対策</p>																																													
<p>11 水産業（漁業生産量の回復や水産物の高付加価値化により水産業を盛んにします）</p> 	<p>(1) 漁業の生産量回復・生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要魚種の不漁が継続 新たな養殖業としてサーモン養殖の事業化が進んでいる <p>⇒ 持続的なサーモン養殖の実現に向けて、養殖技術開発のほか、販路確保や付加価値向上等に向けた取組が必要</p>  <p>図 沿岸局圏域の魚市場の年度別水揚量</p>	<p>○ 大学と連携した効率的な養殖技術の開発 県産サーモン養殖確立支援事業費 広域【独自】（水産部、宮古・大船渡水産振興セ） ・ 岩手大学との連携により、飼料給餌の効率化や海水適応能力の向上等に関する養殖技術を開発</p> <p>○ 県民に対する県産サーモンのPR 同事業費 <small>一部新規</small> 広域【独自】（水産部、宮古・大船渡水産振興セ） ・ 県内量販店・飲食店での県産サーモンのPRキャンペーン ・ SNS を活用したハッシュタグキャンペーンを実施 <small>新</small></p> <p>○ 加工技術の高度化や加工品の開発支援 同事業費 広域【独自】（水産部、宮古・大船渡水産振興セ） ・ サーモンの高次加工に係る講習会を開催するとともに、事業者による新商品開発を促進</p>	<p>主要産業の振興</p>																																													
	<p>表1 本県におけるサケ漁獲量の推移</p> <table border="1" data-bbox="750 1204 1406 1316"> <thead> <tr> <th></th> <th>震災前</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R5/震災前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水揚量（トン）</td> <td>22,334</td> <td>310</td> <td>89</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>水揚金額（百万円）</td> <td>7,821</td> <td>325</td> <td>120</td> <td>1.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>震災前はH20～H22年度平均 沿岸漁獲量</p>		震災前	R4年度	R5年度	R5/震災前	水揚量（トン）	22,334	310	89	0.4%	水揚金額（百万円）	7,821	325	120	1.5%	<p>表2 県産サーモン生産実績</p> <table border="1" data-bbox="1444 1197 2150 1372"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1出荷</th> <th>R2出荷</th> <th>R3出荷</th> <th>R4出荷</th> <th>R5出荷</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ギンザケ</td> <td>16 t</td> <td>78 t</td> <td>305 t</td> <td>938 t</td> <td>1368 t</td> </tr> <tr> <td>トラウトサーモン</td> <td></td> <td>99 t</td> <td>251 t</td> <td>226 t</td> <td>283 t</td> </tr> <tr> <td>サクラマス</td> <td></td> <td></td> <td>13 t</td> <td>27 t</td> <td>159 t</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16 t</td> <td>177 t</td> <td>569 t</td> <td>1191 t</td> <td>1810 t</td> </tr> </tbody> </table> <p>※県沿岸部におけるサーモン海面養殖の対象魚種は、ギンザケ（久慈、大槌、釜石）、トラウトサーモン（宮古、山田、大槌）、サクラマス（釜石）の3種類</p>		R1出荷	R2出荷	R3出荷	R4出荷	R5出荷	ギンザケ	16 t	78 t	305 t	938 t	1368 t	トラウトサーモン		99 t	251 t	226 t	283 t	サクラマス			13 t	27 t	159 t	計	16 t	177 t	569 t	1191 t	1810 t	
	震災前	R4年度	R5年度	R5/震災前																																												
水揚量（トン）	22,334	310	89	0.4%																																												
水揚金額（百万円）	7,821	325	120	1.5%																																												
	R1出荷	R2出荷	R3出荷	R4出荷	R5出荷																																											
ギンザケ	16 t	78 t	305 t	938 t	1368 t																																											
トラウトサーモン		99 t	251 t	226 t	283 t																																											
サクラマス			13 t	27 t	159 t																																											
計	16 t	177 t	569 t	1191 t	1810 t																																											



地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考															
	<p>・ 漁場の磯焼け等により身入りが減少した「やせウニ」の有効利用に向けて、蓄養等の取組が展開 ⇒ ウニ資源の適正管理や海中林の造成による餌対策の指導のほか、有効利用に向けた販売方法の検証が必要</p> <p>(2) 漁業担い手の確保・育成</p> <p>・ 漁業センサスによる管内就業者数（H30 時点）は10年で36%減少したほか、高齢化が進行 ⇒ 新規就業者の確保や中核的漁業経営体※の育成に向けた取組が必要</p> <p>※ 年間販売額が1千万円以上の漁業経営体</p> <p>■ 管内漁業就業者数及び高齢者の割合</p> <table border="1" data-bbox="398 810 1155 922"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H25</th> <th>H30</th> <th>H30/H20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管内漁業就業者数(人)</td> <td>8,276</td> <td>5,091</td> <td>5,295</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>65歳以上の漁業就業者の割合(%)</td> <td>37%</td> <td>35%</td> <td>44%</td> <td>120%</td> </tr> </tbody> </table> <p>内陸中学校での水産業出前授業</p> 		H20	H25	H30	H30/H20	管内漁業就業者数(人)	8,276	5,091	5,295	64%	65歳以上の漁業就業者の割合(%)	37%	35%	44%	120%	<p>○ ウニ資源の有効利用 持続的なウニ蓄養実施支援事業 地経費【独自】(大船渡水産振興セ)</p> <p>・ ウニ蓄養事業の確立に向けた検証(単価向上に向けた販売方法の検証)</p> <p>○ 新規漁業就業者確保・中核的漁業経営体育成 漁業担い手確保・経営力強化支援事業 ^{一部新規} 地経費[再掲]【独自】(水産部)</p> <p>・ 圏域内の漁業に関する情報発信や漁業就業希望者への漁業体験の場の提供 ・ カイゼン研修会、アシストスーツ体験会の開催 ^{一新}</p> <p>○ 漁業担い手の確保・育成 浜の即戦力人材確保推進事業 ^{一部新規} 地経費【独自】(宮古水産振興セ)</p> <p>・ 就業希望者の受け入れ状況・受け皿体制等に関する調査を実施し調査結果を宮古水産高校と共有 ^新 ・ 県内陸部の海や水産に興味がある中学生に対する現役高校生や漁業者等との懇談会や出前授業の実施</p>	<p>自然減・社会減対策</p> <p>DX</p>
	H20	H25	H30	H30/H20														
管内漁業就業者数(人)	8,276	5,091	5,295	64%														
65歳以上の漁業就業者の割合(%)	37%	35%	44%	120%														




地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																								
	<p>(3) 水産物の付加価値向上・販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災で被災した水産加工業者の89.4%が事業を再開 水産庁が実施した水産加工業者へのアンケートによると、売上を伸ばしていくために重要と考える取組として、原材料の確保や販路の回復等が挙げられている コロナ禍でEC(電子商取引)市場が拡大し、インターネットを利用した販売での食料消費が増加 <p>⇒ 原料確保対策や付加価値向上対策のほか、ECの強化対策が必要</p> <p>■ 水産加工業者における東日本大震災からの復興状況アンケート (R5・水産庁) ※岩手県のみ抜粋</p> <table border="1" data-bbox="459 786 967 1171"> <thead> <tr> <th colspan="2">■震災からの回復状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産能力が8割以上回復</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>売上が8割以上回復</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■売上が戻っていない理由</th> </tr> <tr> <td>原材料の不足</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>人材の不足</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>販路の不足・喪失</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■今後、売上を伸ばしていくために重要と考える取組</th> </tr> <tr> <td>原材料の確保</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>生産性向上・省人化の推進</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>人材の確保</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>販路の回復・開拓(国内)</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table>	■震災からの回復状況		生産能力が8割以上回復	67%	売上が8割以上回復	42%	■売上が戻っていない理由		原材料の不足	29%	人材の不足	22%	販路の不足・喪失	14%	■今後、売上を伸ばしていくために重要と考える取組		原材料の確保	21%	生産性向上・省人化の推進	20%	人材の確保	17%	販路の回復・開拓(国内)	17%	<ul style="list-style-type: none"> ○ 加工原料確保・付加価値向上 水産加工業原料・人材確保支援事業 地経費【独自】(水産部、宮古・大船渡水産振興セ) <ul style="list-style-type: none"> 加工原料セミナーの開催 水揚げが増大している魚種を用いたモデル的な加工品の試作 ○ ECを活用した販売力の強化 いわて三陸水産販路多角化事業 地経費【独自】(水産部、宮古・大船渡水産振興セ) <ul style="list-style-type: none"> ECによる販売力強化に向けたセミナーの開催 水産加工業者のECサイトの改善支援 ○ 販路拡大・付加価値向上 宮古の水産物ブランド化推進事業^{一部新規} 地経費【連携(宮古市、岩泉町)】(宮古水産振興セ) <ul style="list-style-type: none"> 宮古の真鱈グルメフェアの開催や事業者等によるプロモーション活動支援 河川遡上サクラマス(岩泉町小本川)のブランド化に向け原料特性を調査^新 ○ 釣り鮎の流通システムの構築 川魚を活用した内水面の魅力再発見事業 地経費【独自】(大船渡水産振興セ) <ul style="list-style-type: none"> 釣果アユの買取り試験や販路開拓を支援し、地域ブランドの確立を支援 	<p>DX</p> <p>Wild Cup 2023 県漁連会長賞 受賞事業</p> <p>Wild Cup 2022 最優秀新人賞 受賞事業</p>
■震災からの回復状況																											
生産能力が8割以上回復	67%																										
売上が8割以上回復	42%																										
■売上が戻っていない理由																											
原材料の不足	29%																										
人材の不足	22%																										
販路の不足・喪失	14%																										
■今後、売上を伸ばしていくために重要と考える取組																											
原材料の確保	21%																										
生産性向上・省人化の推進	20%																										
人材の確保	17%																										
販路の回復・開拓(国内)	17%																										


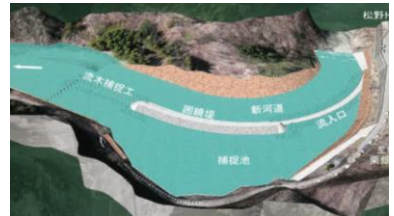
地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
	<p>(4) 漁港等の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化による施設の機能低下が懸念されるほか、近年の海洋環境の変化等により、自然災害の規模や頻度が高まっている ⇒ 漁港機能の保全及び強化が必要  <p>大船渡魚市場</p> <p>流通基盤整備事業箇所（大船渡漁港）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年3月、大槌町吉里吉里漁港が水産庁の「海業振興モデル地区」に選定 令和6年3月、大槌町吉里吉里漁港と釜石市箱崎漁港(箱崎地区)が水産庁の「海業の推進に取り組む地区」に決定 ⇒ 市町村と連携した海業の促進が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漁港施設の機能保全 <ul style="list-style-type: none"> 本庁予算（水産部） 防波堤・岸壁の鋼製施設など緊急度の高い施設の長寿命化対策 ○ 水産物流通拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> 本庁予算（水産部） 水産物の流通機能を強化する施設整備 ○ 水産資源の回復・増大のための漁場整備 <ul style="list-style-type: none"> 本庁予算（水産部） 水産資源の生産力向上及び豊かな生態系回復・増大を図るための藻場造成 ○ 海業の促進 <ul style="list-style-type: none"> 大槌町魅力発信体験型ツーリズム事業 地経費：市町村事業（経営企画部） 大槌町の「海」を活用した体験プログラムの造成による交流人口の拡大への支援 (水産部) 釜石市の海業計画策定支援(大槌町は策定支援済み) 	

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																																						
<p>12 農業（地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業を盛んにします）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>2 地域をゼロに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い農産物をみんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 自給がいのも経済成長も</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>15 食の豊かさもやろう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナリングで自備を達成しよう</p>  </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域</th> <th colspan="6">新規就農者数（人）</th> <th rowspan="2">定着率（%）</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>13</td> <td>90.9</td> </tr> <tr> <td>宮古</td> <td>3</td> <td>26</td> <td>31</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>79</td> <td>77.2</td> </tr> <tr> <td>大船渡</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>63</td> <td>79.6</td> </tr> <tr> <td>沿岸 計</td> <td>22</td> <td>42</td> <td>48</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>155</td> <td>79.2</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>245</td> <td>268</td> <td>312</td> <td>277</td> <td>291</td> <td>1,393</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 宮古地域園芸経営体育成事業</p> 	地域	新規就農者数（人）						定着率（%）	H30	R1	R2	R3	R4	計	釜石	2	3	3	3	2	13	90.9	宮古	3	26	31	8	11	79	77.2	大船渡	17	13	14	8	11	63	79.6	沿岸 計	22	42	48	19	24	155	79.2	全県	245	268	312	277	291	1,393	80.0	<p>(1) 地域農業を担う経営体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波等の被災復旧で整備された再生農地等では、営農組織等担い手による経営確立に向けた取組が進展 ⇒ 地域を牽引する認定農業者や営農組織等の経営安定化に向けた取組の促進が必要 沿岸地域の基幹的農業従事者数は、5年で約33%減少。一方、就農相談会の開催等により、直近5年間の新規就農者は155人（年平均31人）と目標を達成 ⇒ 地域農業の維持・発展に向け、新規就農者確保の取組の強化が必要 新規就農者の早期経営安定に向け、重点的な技術・経営指導の継続が必要 <p>(2) 地域特性を生かした農畜産物の産地力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規栽培者の確保に向けたほ場見学会の開催等により、主力園芸品目の作付面積は拡大傾向ではあるが、生産者の高齢化等によりその伸びは近年、鈍化 ⇒ 産地力強化に向け新規栽培者や労働力の確保による野菜中核農家の育成が必要 	<p>○ 農業担い手の確保や営農組織の農業経営の安定化の推進</p> <p>いわて三陸多様な担い手確保・育成推進事業 ● 新規</p> <p style="text-align: right;">地経費【独自】（農林部）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 営農組織等の課題解決を図る情報交換会の開催 魅力ある地域農業等の発信手法を習得する研修会の開催 </div> <p>○ スマート農業技術や低コスト環境制御技術の活用</p> <p>宮古地域園芸経営体育成事業 ● 一部新規</p> <p style="text-align: right;">地経費【独自】（宮古農林振興セ・農普セ）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> スマート農業技術の活用に向けた専門家指導の実施 新規栽培志向者を対象とした現地見学会の実施 低コスト環境制御技術の活用に向けた研修会等の開催 ● 新 </div> <p>○ 野菜中核農家の育成</p> <p>宮古地域園芸経営体育成事業 ● 新規</p> <p style="text-align: right;">地経費 [再掲]【独自】（宮古農林振興セ・農普セ）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> パート・アルバイトを対象に作業内容やポイントを理解できる農作業体験会の実施 </div> <p>○ バイオ炭の活用</p> <p>● 新規 本庁予算（大船渡農林振興セ・農普セ）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ぶどう及びりんごの剪定枝の炭化（バイオ炭）及び農地施用方法の実証（大船渡市、陸前高田市） </div> <p>高機能バイオ炭実証実験事業 ● 新規</p> <p style="text-align: right;">地経費：市町村事業（大船渡地域振興セ）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 「鶏ふん炭」を活用した実証（住田町） </div>	<p>自然減・社会減対策</p> <p style="text-align: center; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">DX</p> <p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 5px;">GX</p> <p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 5px;">GX</p>
地域		新規就農者数（人）							定着率（%）																																																
	H30	R1	R2	R3	R4	計																																																			
釜石	2	3	3	3	2	13	90.9																																																		
宮古	3	26	31	8	11	79	77.2																																																		
大船渡	17	13	14	8	11	63	79.6																																																		
沿岸 計	22	42	48	19	24	155	79.2																																																		
全県	245	268	312	277	291	1,393	80.0																																																		


地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ニホンジカ等の野生鳥獣の増加や新たなイノシシの生息域拡大に伴う農作物被害の拡大 ⇒ 被害防止対策の一層の強化が必要 大槌町では R2 年からジビエ事業に取り組み中、沿岸圏域でのジビエ事業の拡大に向け、関係者を対象とした地域別勉強会等を R5 年から開催 宮古市でジビエ事業の取組に向けた検討が進んでいる ⇒ ジビエ事業の円滑な運営や事業の横展開を図る取組の継続が必要  <p>県内のシカの推定個体数 10.7 万頭 約4万頭 H26: 環境省調査結果 H30 秋時点: 県環境保健研究センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農作物被害対策 侵入防止柵設置及び有害鳥獣捕獲等の支援 [本庁予算] (農林部) ○ ジビエ利活用の推進 三陸ジビエ産地確立支援事業 [地経費: 市町村連携枠]【連携(管内9市町村)】 (農林部) <ul style="list-style-type: none"> 市町村別のジビエ事業化勉強会の開催 市町村のジビエ事業の中心となるプレイヤー発掘に向けた現場研修会の開催 首都圏等で開催されるフェア等への出展  <p>ジビエ事業化勉強会</p>	
	<p>(3) 地域の農林水産物を生かした6次産業化や集落活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 産直施設の販売額は伸び悩んでいるが、SNSを活用した情報発信等の実証事業に取り組む施設では、売上や来客数は増加 ⇒ 実証事業の成果を横展開し、各産直施設での取組拡大が必要 農林水産物の生産者の一部では、収益向上の手段として産直施設等における直接販売や加工品の開発等を推進 ⇒ 直接販売や加工品の販売等、収益向上に向けた生産者の取組を支援することが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産直施設等の経営力向上支援 宮古地域産地直売パワーアップ事業 ^{一部新規} [地経費]【独自】(宮古農林振興セ) <ul style="list-style-type: none"> 専門家を活用した経営改善計画作成・実践支援 温室効果ガス削減に取り組む商品への「見える化」表示による差別化 ^新 ○ 農林水産物の消費拡大 宮古・下閉伊「食財キングダム」ブランディング事業 ^{新規} [地経費]【独自】(宮古農林振興セ、農普セ、水産振興セ) <ul style="list-style-type: none"> 高校生とホテル・飲食店等の連携によるメニュー開発等による「一押し農林水産物(一押し食材)」の付加価値、知名度の向上 県内情報番組での連続放送 	<p>G X</p>





地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																		
<p>13 林業・木材産業（豊かな森林資源を生かした林業・木材産業を盛んにします）</p> 	<p>(1) 意欲と能力のある林業経営体の育成と計画的な森林整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業従事者数は、横ばい傾向であるが、森林経営管理制度による森林整備の事業量が増加見込み ⇒ 森林整備を担う新規林業従事者の確保及び林業経営体の育成が必要 全国植樹祭の開催を契機に、県民の森林・林業に対する理解醸成が進展 ⇒ 全国植樹祭のレガシーを将来に引き継ぐため、森林・林業へ高まった関心を継続させることが必要 <p>(2) 地域材の安定供給と利活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林資源が利用期を迎える中、国産材利用の機運の高まり ⇒ 地域材の利用促進に向けて、高性能林業機械や木材加工流通施設等の整備・導入により安定的に供給できる体制整備が必要 人口減少に伴い、主な需要先である住宅着工戸数が減少の見込み ⇒ 民間商業施設等における木材利用促進に向けて、木材利用に対する理解を深める取組が必要 	<p>○ 林業従事者の確保</p> <p style="text-align: right;">本庁予算 [再掲]</p> <p style="text-align: center;">(農林部、宮古林務室、岩泉林務、大船渡農林セ)</p> <p>林業従事者数の推移 (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1234 363 1917 483"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿岸広域</td> <td>407</td> <td>395</td> <td>404</td> <td>411</td> <td>399</td> </tr> <tr> <td>県計</td> <td>1,724</td> <td>1,705</td> <td>1,741</td> <td>1,705</td> <td>1,634</td> </tr> </tbody> </table> <p>※林業労働力実態調査（森林整備課）</p> <p>○ 全国植樹祭開催を契機とした森林・林業への理解醸成</p> <p style="text-align: center;">緑をつなぐ森林レクリエーション事業 新規</p> <p style="text-align: center;">地経費【独自】（大船渡農林振興セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大窪山森林公園などを活用した学習会等、森林・林業に触れて学ぶイベント等の開催 <p>○ 地域材の安定供給</p> <p style="text-align: right;">本庁予算（大船渡農林セ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材加工流通施設(木材製材施設)の整備を支援 <p>○ 木材利用に対する理解促進</p> <p style="text-align: right;">本庁予算（宮古林務室）</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間商業施設における木材利用を促進するため、木質化の効果等を周知するセミナーや各種見学会の開催 		H30	R 1	R 2	R 3	R 4	沿岸広域	407	395	404	411	399	県計	1,724	1,705	1,741	1,705	1,634	<p style="background-color: #FF00FF; color: white; padding: 5px;">自然減・社会減対策</p> <p style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;">GX</p>  <p style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center;">GX</p>
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4																
沿岸広域	407	395	404	411	399																
県計	1,724	1,705	1,741	1,705	1,634																

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																								
	<p>(3) 特用林産物の産地力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾しいたけは、原木調達環境の悪化や生産コストの上昇などの影響による植菌本数の減少等により生産量は横ばい傾向 生産意欲の減退による生産者の技術力の低下も懸念 <p>乾しいたけ生産量 (単位：t)</p> <table border="1" data-bbox="456 475 1135 555"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿岸広域</td> <td>23.6</td> <td>23.2</td> <td>22.1</td> <td>22.3</td> <td>22.6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 生産された乾しいたけは主に JA に出荷。品質の優劣が販売価格に影響しにくく、販売価格は低迷 <p>乾しいたけ価格の推移 (単位：円/kg)</p> <table border="1" data-bbox="456 742 1135 821"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩手県平均価格</td> <td>3,476</td> <td>3,223</td> <td>3,010</td> <td>3,479</td> <td>3,592</td> </tr> </tbody> </table> <p>※震災前(H22)の価格：4,564 円/kg</p> <p>⇒ 生産技術の維持と生産者のモチベーションアップが必要 植菌本数が減少している中、生産量の減少を食い止めるため、単位収量の向上が必要</p>		H30	R1	R2	R3	R4	沿岸広域	23.6	23.2	22.1	22.3	22.6		H30	R1	R2	R3	R4	岩手県平均価格	3,476	3,223	3,010	3,479	3,592	<p>○ 原木しいたけの産地力向上 いわて三陸原木しいたけ元気な産地づくり事業 地経費【独自】(宮古林務室)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 乾しいたけ品評会及び生産技術交流会の開催 産直施設を核とした販売促進及び消費拡大イベントの開催 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1176 485 1554 772">  <p>生産技術交流会 (R5)</p> </div> <div data-bbox="1554 485 1939 772">  <p>産直施設での販売促進 (R5)</p> </div> </div> <div data-bbox="1176 831 1536 1369">  <p>キャンペーンポスター (R5)</p> </div>	
	H30	R1	R2	R3	R4																						
沿岸広域	23.6	23.2	22.1	22.3	22.6																						
	H30	R1	R2	R3	R4																						
岩手県平均価格	3,476	3,223	3,010	3,479	3,592																						

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																										
<p>14 観光産業（多様な資源と新たな交通ネットワークを生かした観光産業を盛んにします）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">8 働きがいも経済成長も</div> <div style="text-align: center;">12 つくる責任つかう責任</div> <div style="text-align: center;">17 パートナリシップで目標を達成しよう</div> </div>	<p>(1) 地域資源と新たな交通ネットワークを生かした観光地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内の観光客入込数は、R元年に震災前（H22年）と同水準まで回復したが、R4年は前年度より増加したものの新型コロナ感染拡大の影響により震災前の65%に減少 令和6年4月に三陸鉄道が開業40周年を迎え、国内外からの誘客の好機 <p>⇒ 三陸鉄道やジオパーク、みちのく潮風トレイル等の沿岸ならではの観光施設、震災伝承施設などの活用により、首都圏等からの誘客・周遊の促進による交流人口及び観光消費の拡大に向けた取組が必要</p> <p>■圏域別入込客数（延べ人数）（千人回）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>H22年</th> <th>R元年</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R元年比</th> <th>H22年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全県</td> <td>28,956</td> <td>29,213</td> <td>15,601</td> <td>18,333</td> <td>62.8%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>8,871</td> <td>9,681</td> <td>4,581</td> <td>5,417</td> <td>56.0%</td> <td>61.1%</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>11,394</td> <td>11,511</td> <td>6,100</td> <td>7,087</td> <td>61.6%</td> <td>62.2%</td> </tr> <tr style="background-color: #ffff00;"> <td>沿岸</td> <td>5,823</td> <td>5,350</td> <td>3,173</td> <td>3,783</td> <td>70.7%</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>県北</td> <td>2,868</td> <td>2,670</td> <td>1,747</td> <td>2,045</td> <td>76.6%</td> <td>71.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（出典：令和4年版岩手県観光統計概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 三陸沿岸地域では、震災や台風災害の復旧復興事業でインフラ整備が近年急速に進んだが、その整備効果や役割、必要性などの周知や情報発信が重要 <p>⇒ 観光振興施策とも連携することにより、公共事業におけるインフラ整備への理解醸成、インフラの魅力や高い技術力などを広く発信することが必要</p>	圏域	H22年	R元年	R3年	R4年	R元年比	H22年比	全県	28,956	29,213	15,601	18,333	62.8%	63.3%	県央	8,871	9,681	4,581	5,417	56.0%	61.1%	県南	11,394	11,511	6,100	7,087	61.6%	62.2%	沿岸	5,823	5,350	3,173	3,783	70.7%	65.0%	県北	2,868	2,670	1,747	2,045	76.6%	71.3%	<ul style="list-style-type: none"> ○ JR釜石線を活用したエリア活性化 広域観光推進事業 地経費【連携(釜石市、大槌町、住田町)】（産業振興室） <ul style="list-style-type: none"> JR釜石線沿線広域エリア活性化委員会と連携した「ひなび」のPRやおもてなし ○ 隣接地域と連携した交流人口の拡大 気仙沼地域と連携した誘客促進事業 新規 地経費【連携(大船渡地区3市町)】（大船渡地域振興セ） <ul style="list-style-type: none"> BRT（JR大船渡線・気仙沼線）周遊スタンプラリーの開催による利用促進 新 ○ 新たな観光資源を活用した交流人口の拡大 気仙地区交流人口拡大事業 新規 地経費【連携(大船渡地区3市町)】（大船渡地域振興セ） <ul style="list-style-type: none"> 陸前高田オートキャンプ場、リニューアルオープンの滝観洞などと連携した情報発信 ○ インフラを活用した誘客促進 インフラツーリズムデジタルコンテンツ作成事業 新規 地経費【独自】（宮古・岩泉土木セ） <ul style="list-style-type: none"> 岩手県立大学との共同研究によるインフラ施設のデジタルコンテンツ開発（閉伊川水門、小本川流木捕捉工） <p>▼小本川流木捕捉工完成写真（R5.1.20撮影） ▼洪水時イメージ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p style="background-color: #ff69b4; padding: 5px;">自然減・社会減対策</p> <p style="background-color: #000080; color: white; padding: 5px; text-align: center;">DX</p> <p style="background-color: #90ee90; padding: 5px;">安全・安心</p>
圏域	H22年	R元年	R3年	R4年	R元年比	H22年比																																							
全県	28,956	29,213	15,601	18,333	62.8%	63.3%																																							
県央	8,871	9,681	4,581	5,417	56.0%	61.1%																																							
県南	11,394	11,511	6,100	7,087	61.6%	62.2%																																							
沿岸	5,823	5,350	3,173	3,783	70.7%	65.0%																																							
県北	2,868	2,670	1,747	2,045	76.6%	71.3%																																							

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																																																																										
	<p>(2) 震災学習を核とした教育旅行の誘致、滞在型旅行商品の造成等に向けた観光情報発信力の強化や受入態勢の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4年の県内の教育旅行の入込校数は震災前(H22年)より5倍増加 ・ 隣県からの入込は、減少に転じているが、関東地方からの入込は、コロナ禍前(R元年)を上回っているほか、北海道からの入込も、コロナ禍前(R元年)の水準に戻りつつあり、遠隔地からの入込が増加 <p>⇒ 遠隔地からの入込増加など、教育旅行がコロナ禍前の状況に戻りつつあり、震災学習を核とした教育旅行の北海道からの誘客等の取組が必要</p> <p>■教育旅行広域圏別入込数 (単位: 延べ校、人回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">H22年</th> <th colspan="3">R元年</th> <th colspan="3">R3年</th> <th colspan="3">R4年</th> </tr> <tr> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿岸局</td> <td>110</td> <td>10,617</td> <td>5.5%</td> <td>306</td> <td>17,634</td> <td>8.2%</td> <td>588</td> <td>31,829</td> <td>11.8%</td> <td>537</td> <td>28,694</td> <td>9.9%</td> </tr> <tr> <td>盛岡局</td> <td>1,333</td> <td>79,346</td> <td>41.4%</td> <td>1,603</td> <td>100,491</td> <td>47.0%</td> <td>2,122</td> <td>112,212</td> <td>41.7%</td> <td>2,132</td> <td>121,532</td> <td>41.8%</td> </tr> <tr> <td>県南局</td> <td>998</td> <td>98,573</td> <td>51.4%</td> <td>1,261</td> <td>91,593</td> <td>42.8%</td> <td>1,742</td> <td>119,808</td> <td>44.5%</td> <td>1,979</td> <td>134,827</td> <td>46.4%</td> </tr> <tr> <td>県北局</td> <td>13</td> <td>3,300</td> <td>1.7%</td> <td>73</td> <td>4,067</td> <td>1.9%</td> <td>103</td> <td>5,085</td> <td>1.9%</td> <td>94</td> <td>5,558</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,454</td> <td>191,836</td> <td></td> <td>3,243</td> <td>213,785</td> <td></td> <td>4,555</td> <td>268,934</td> <td></td> <td>4,742</td> <td>290,611</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典: いわたの観光統計「教育旅行者・外国人観光客の入込動向」)</p>		H22年			R元年			R3年			R4年			校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	沿岸局	110	10,617	5.5%	306	17,634	8.2%	588	31,829	11.8%	537	28,694	9.9%	盛岡局	1,333	79,346	41.4%	1,603	100,491	47.0%	2,122	112,212	41.7%	2,132	121,532	41.8%	県南局	998	98,573	51.4%	1,261	91,593	42.8%	1,742	119,808	44.5%	1,979	134,827	46.4%	県北局	13	3,300	1.7%	73	4,067	1.9%	103	5,085	1.9%	94	5,558	1.9%	合計	2,454	191,836		3,243	213,785		4,555	268,934		4,742	290,611		<p>○ 北海道、首都圏、仙台圏からの誘客促進 震災学習による三陸誘客周遊促進事業 地経費【独自】(産業振興室)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道からの誘客促進 三陸鉄道(株)との連携による教育旅行造成プロモーションの実施、モニターツアー、ワーケーション等の先進事例の発信 ・ 首都圏からの誘客促進 沿岸地域を周遊する旅行商品の造成・催行の支援、首都圏旅行エージェントを対象としたプロモーションの実施 ・ 仙台圏からの誘客促進 旅行エージェントや東北観光推進機構等を対象としたインバウンド誘客を意識したプロモーションの実施 </div> <p>○ SNSを活用した誘客促進 三陸観光キャンペーン展開事業 地経費 [再掲] 【独自】(産業振興室)</p>	<p>自然減・社会減対策</p> <p>DX</p>
	H22年			R元年			R3年			R4年																																																																																			
	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア																																																																																	
沿岸局	110	10,617	5.5%	306	17,634	8.2%	588	31,829	11.8%	537	28,694	9.9%																																																																																	
盛岡局	1,333	79,346	41.4%	1,603	100,491	47.0%	2,122	112,212	41.7%	2,132	121,532	41.8%																																																																																	
県南局	998	98,573	51.4%	1,261	91,593	42.8%	1,742	119,808	44.5%	1,979	134,827	46.4%																																																																																	
県北局	13	3,300	1.7%	73	4,067	1.9%	103	5,085	1.9%	94	5,558	1.9%																																																																																	
合計	2,454	191,836		3,243	213,785		4,555	268,934		4,742	290,611																																																																																		

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																																				
	<p>(3) 内陸地域や東北・北海道・首都圏等と三陸地域を結び、外国人観光客も視野に入れた広域観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年の外国人宿泊者数はコロナ禍前（令和元年）との比較では10%弱に留まるものの、令和3年との比較では60%以上増加 大型クルーズ船の寄港、盛岡市のニューヨーク・タイムズ紙への掲載などにより、インバウンドが回復傾向 令和6年度は宮古港に9回（外国船8回、本邦船1回）、大船渡港に2回（本邦船2回）のクルーズ船入港を予定 令和6年4月に三陸鉄道が開業40周年、6月に全線開通5周年を迎える「みちのく潮風トレイル」は、英紙タイムズや米紙ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）でも取り上げられ、国内外からの誘客の好機 <p>⇒ インバウンドの回復と拡大に向けた情報発信、受入体制強化、広域周遊促進を図る取組が必要</p> <p>■岩手県の外国人宿泊者数の状況 (単位：人泊)</p> <table border="1" data-bbox="416 1018 1128 1257"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R3年比</th> <th>R元年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～3月</td> <td>88,790</td> <td>5,460</td> <td>2,130</td> <td>39.0%</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>4～6月</td> <td>68,630</td> <td>2,220</td> <td>4,150</td> <td>186.9%</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>7～9月</td> <td>60,150</td> <td>5,580</td> <td>5,310</td> <td>95.2%</td> <td>8.8%</td> </tr> <tr> <td>10～12月</td> <td>126,390</td> <td>4,490</td> <td>17,380</td> <td>387.1%</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>343,960</td> <td>17,750</td> <td>28,970</td> <td>163.2%</td> <td>8.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出展：観光庁「宿泊旅行統計調査」)</p>		R元年	R3年	R4年	R3年比	R元年比	1～3月	88,790	5,460	2,130	39.0%	2.4%	4～6月	68,630	2,220	4,150	186.9%	6.0%	7～9月	60,150	5,580	5,310	95.2%	8.8%	10～12月	126,390	4,490	17,380	387.1%	13.8%	合計	343,960	17,750	28,970	163.2%	8.4%	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外への観光PR 広域観光推進事業 地経費【連携(関係市町村)】(産業振興室) <ul style="list-style-type: none"> 県外イベントにおける観光PRブースの出展 花巻空港国際航空便歓迎行事の対応等 ○ 北海道胆振総合振興局との観光交流連携 広域観光推進事業 地経費【独自】(産業振興室) <ul style="list-style-type: none"> 胆振総合振興局との相互連携による観光のPR ○ クルーズ船寄港に対応した観光誘客・受入促進 クルーズ船広域周遊促進事業 地経費【再掲】【連携(宮古市)】(宮古地域振興セ) 気仙地区交流人口拡大事業 新規 地経費【再掲】【連携(大船渡地区3市町)】(大船渡地域振興セ) ○ みちのく潮風トレイル・三陸ジオパークを活用した国内外からの誘客拡大 みちのく潮風トレイル・三陸ジオパーク活用インバウンド推進事業 新規 地経費【再掲】【連携(管内9市町村)】(宮古地域振興セ)  <p>みやこポर्टフェスタポスター (宮古市)</p>	<p>自然減・社会減対策</p>
	R元年	R3年	R4年	R3年比	R元年比																																		
1～3月	88,790	5,460	2,130	39.0%	2.4%																																		
4～6月	68,630	2,220	4,150	186.9%	6.0%																																		
7～9月	60,150	5,580	5,310	95.2%	8.8%																																		
10～12月	126,390	4,490	17,380	387.1%	13.8%																																		
合計	343,960	17,750	28,970	163.2%	8.4%																																		

地域振興プラン	現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考																								
<p>15 社会基盤の活用（整備が進む社会基盤を産業振興に生かします）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>9 産業と社会基盤の連携をつくらう</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>  </div> </div>	<p>(1) 新たな交通ネットワークによる産業競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内陸と沿岸を結ぶ高規格道路の整備が進展 ⇒ 地域振興に資する更なるインフラ整備と活用が必要 	<p>○ 物流や交流を支える道路整備</p> <p style="text-align: center;">[本庁予算] (土木部、大船渡・岩泉土木セ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物流の基盤を支える道路整備や観光地へのアクセス性を向上する道路整備の推進（道路改良等） (主) 釜石遠野線 中村～青ノ木（釜石市） (国) 455号 乙茂（岩泉町） (国) 107号 白石峠（大船渡市・住田町） ・ (国)343号笹ノ田トンネル整備に係る課題検討 <p>○ インフラを活用した誘客促進</p> <p style="text-align: center;">インフラツーリズムデジタルコンテンツ作成事業 新規</p> <p style="text-align: center;">[地経費] [再掲] 【独自】(宮古・岩泉土木セ)</p>	<p style="background-color: #92d050; padding: 2px;">安全・安心</p> <p style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; text-align: center;">DX</p>																								
<p>セブンシーズ・エクスプローラーの初寄港 (R6.4.15 宮古港)</p> 	<p>(2) 物流の高度化に向けた港湾機能の強化とポートセールスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期化する世界的な物流混乱などの影響により港湾の利用は伸び悩み ⇒ 港湾の利活用促進に向けた取組が必要 <p>■コンテナ貨物取扱数（実入り）の推移（TEU）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年</th> <th>R2年</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> <th>R5年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石港</td> <td>6,782</td> <td>5,737</td> <td>5,357</td> <td>5,195</td> <td>4,400</td> </tr> <tr> <td>大船渡港</td> <td>2,773</td> <td>2,386</td> <td>3,352</td> <td>2,995</td> <td>3,469</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,555</td> <td>8,123</td> <td>8,709</td> <td>8,190</td> <td>7,869</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナの影響を受けていたクルーズ船の寄港が再開、拡大 ・ 令和6年度は宮古港に9回（外国船8回、本邦船1回）、大船渡港に2回（本邦船2回）のクルーズ船入港を予定 ⇒ 寄港拡大に向けた取組が必要 		R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	釜石港	6,782	5,737	5,357	5,195	4,400	大船渡港	2,773	2,386	3,352	2,995	3,469	計	9,555	8,123	8,709	8,190	7,869	<p>○ 港湾機能の充実とポートセールスの推進</p> <p style="text-align: center;">[本庁予算] (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 港湾取扱貨物量の拡大に向け、関係市と連携し船社及び荷主企業へのポートセールスを推進 ・ クルーズ船寄港の拡大に向け、関係市と連携しクルーズ船社へのポートセールスを推進 <p>○ 宮古港・大船渡港を起点としたクルーズ船乗客の広域周遊促進</p> <p style="text-align: center;">クルーズ船広域周遊促進事業</p> <p style="text-align: center;">[地経費] [再掲] 【連携(宮古市)】 (宮古地域振興セ)</p> <p style="text-align: center;">気仙地区交流人口拡大事業</p> <p style="text-align: center;">[地経費] [再掲] 【連携(大船渡地区3市町)】 (大船渡地域振興セ)</p>	<p style="background-color: #ff00ff; padding: 2px;">自然減・社会減対策</p>
	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年																						
釜石港	6,782	5,737	5,357	5,195	4,400																						
大船渡港	2,773	2,386	3,352	2,995	3,469																						
計	9,555	8,123	8,709	8,190	7,869																						

3 その他令和6年度に取り組むべき重要課題

(1) 県の重点事項の推進



現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<p>① GXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域では、太陽光、風力、バイオマスなどの豊富な再生可能エネルギーのポテンシャル 宮古市が環境省の「脱炭素先行地域」に選定（R4年11月） 釜石市では、市独自の「釜石版ブルーカーボン・オフセット制度」を創設（R5年10月） 沿岸圏域では、岩泉町、住田町（気仙地方森林組合）、大槌町（釜石地方森林管理協議会）で森林認証を取得 <p>⇒ 恵まれた自然環境、再生可能エネルギーのポテンシャルを生かし、地球温暖化対策、森林資源の循環利用などを進め、持続可能な新しい成長を目指していくことが必要</p> <p>② DXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域では人口減少・少子高齢化が進み、各産業分野で担い手不足が課題 <p>⇒ 沿岸圏域の地域特性に応じた各産業分野のDXを推進し、人口減少など地域が抱える社会問題の解決に寄与し、個性豊かで活力に満ちた地域としていくことが必要</p>	<p>① GXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒等を対象とした地域の魅力（三陸の海、ジオパーク、みちのく潮風トレイル等）を知るイベント開催や環境学習活動の取組支援（P11、12掲載） 脱炭素化施策に取り組む市町村の伴走型支援や地域の脱炭素化の機運醸成のため研修会やシンポジウムの開催 新規（P12掲載） 藻場の造成などによる水産資源の回復の推進〔地経費：市町村事業〕 農業生産における低コスト環境制御技術の活用に向けた研修会等の開催 新規（P22掲載） 森林整備の担い手である林業従事者の確保に向けた技術研修や林業体験会の開催（P4掲載） <p>② DXの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業のDX専門人材の確保支援 一部新規（P16掲載） ICT建設機械等を用いた最新技術体験学習の開催 新規（P4掲載） 水産加工事業者のECによる販路多角化支援（P20掲載） スマート農業技術の活用に向けた専門家派遣、漁業者を対象としたアシストスーツ体験会の開催 一部新規（P4掲載） デジタルコンテンツを活用した誘客促進 新規（P26掲載） 	

ICT建設機械による施工



ラジコン草刈機実演会

(2) 三陸防災復興ゾーンプロジェクトの推進

現状・課題	対応の方向性及び具体的取組内容	備考
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波から13年が経過し、震災の記憶の風化の懸念 ⇒ 各市町村に整備された伝承施設や震災遺構を生かしながら、東日本大震災津波と復興の経験や教訓などを伝承するとともに、復興の姿を国内外に情報発信していくことが必要 復興の取組により三陸沿岸道路等の交通ネットワークや港湾機能が大きく進展 ⇒ これらを活用した産業振興の取組を進めることが必要 令和6年4月に三陸鉄道が開業40周年、6月に全線開通5周年を迎える「みちのく潮風トレイル」は、英紙タイムズや米紙ウォール・ストリート・ジャーナル（WSJ）でも取り上げられ、国内外からの誘客の好機 ⇒ 三陸地域の多様な魅力を発信し、地域資源を生かしながら、コロナ5類移行後に回復傾向にある交流人口の拡大などの取組を進め、持続的な三陸地域の発展につなげる必要 <div data-bbox="116 906 651 1214">  <p>みちのく潮風トレイルを活用した健康ウォーキング (R6.1 釜石市内)</p> </div> <div data-bbox="512 1114 1037 1460">  <p>三陸鉄道開業40周年記念列車のお出迎え・お見送り (R6.4.1 宮古駅)</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> 「防災」で世界とつながる三陸 <ul style="list-style-type: none"> 震災語り部ガイドの意見交換会等を通じた語り部団体等の育成支援 (P7掲載) 「いのちをつなぐ未来館」と連携した水門・防潮堤の役割や防災意識の必要性の情報発信 (P7掲載) 震災学習を核とした教育旅行誘致等に係るプロモーションの実施 (首都圏、北海道、仙台圏) (P27掲載) 多様な交通ネットワークで国内外とつながる三陸 <ul style="list-style-type: none"> みちのく潮風トレイルを活用した欧米旅行会社招聘ツアーの開催 新規 (P5掲載) みちのく潮風トレイル全線開通5周年を記念した誘客促進イベントの開催支援 [地経費：市町村事業] 三陸鉄道開業40周年、みちのく潮風トレイル全線開通5周年とも連動したSNSを活用した観光キャンペーン (P5掲載) クルーズ船寄港に対応した観光誘客・受入促進 一部新規 (P5掲載) ジオパークで世界とつながる三陸 <ul style="list-style-type: none"> 三陸ジオパーク拠点施設機能強化に向けた支援 [地経費：市町村事業] 世界に誇れる食やスポーツでつながる三陸 <ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップ2019™釜石開催などによるスポーツへの関心の高まりを生かしたスポーツ体験会の開催 (P14掲載) スポーツを活用した交流人口拡大への支援 [地経費：市町村事業] 次世代を担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒等を対象とした地域の魅力を知るイベント開催や環境学習活動の取組支援 (P11、12掲載) 中高生の海外交流への支援 [地経費：市町村事業] 多様な主体の参画と協働によるプロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> 沿岸地域の郷土芸能の担い手と国内外で活躍する芸術家との交流機会の創出やイベントの開催 (P9掲載) アニメを通じた台湾との交流への支援 [地経費：市町村事業] 	

○ 通年の三陸活性化イベントの実施・支援

地域経営推進費や広域振興事業費を活用して、三陸地域の活性化に向け、イベントの実施や市町村の取組への支援
 <令和6年度の主な三陸活性化イベント(予定)>



時期	イベント	概要	実施主体	備考
4～10月	みやこポートフェスタ	クルーズ船が寄港する4～10月に歓迎イベント等を実施	宮古市	地経費：市町村事業
5～10月	みちのく潮風トレイルウォーキングイベント	みちのく潮風トレイル全線開通5周年に合わせたウォーキングイベントの開催	宮古市	地経費：市町村事業
6月	県産サーモンPRキャンペーン	県内量販店・飲食店での県産サーモンのPR、SNSを活用したハッシュタグキャンペーンの実施	沿岸局	広域
6月	岩手大槌サーモン祭り	大槌町の新たな特産品として開発した岩手大槌サーモンのPRイベントの開催	大槌町	地経費：市町村事業
6月	宮古トラウトサーモンまつり	宮古トラウトサーモンの更なる知名度向上と販路開拓・消費拡大に向けたイベントの初開催	宮古市	地経費：市町村事業
7月	千葉ロッテマリーンズ冠協賛試合	大船渡市にゆかりのある佐々木朗希選手の活躍を後押しや、全国に向けたシティプロモーションを図るための協賛試合の実施	大船渡市	地経費：市町村事業
10月	たのはた村産業まつり	田野畑村の農林水産物を通じ、一次産業、二次産業、三次産業の交流連携イベントの開催	田野畑村	地経費：市町村事業
10月	3×3バスケットボール大会	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承したスポーツ交流イベントの開催	大船渡市	地経費：市町村事業
秋季	SNSを活用した沿岸地域 秋季観光キャンペーン	JR重点販売地域指定、三陸鉄道開業40周年及びみちのく潮風トレイル全線開通5周年とも連動したSNS観光キャンペーンの実施	沿岸局	地経費
11月	海と希望の学園祭	東京大学等の知見を得ながら、教育環境の充実、地域をけん引する人材の育成を図るシンポジウムやイベントの開催	釜石市	地経費：市町村事業
11月	海と希望の学校 on さんてつ	沿岸圏域の研究機関、三陸鉄道等と連携した三陸の地域資源への理解促進を図るイベントの開催	沿岸局	地経費
11～12月	原木しいたけの販売促進 キャンペーン	原木しいたけの販売促進や消費拡大に向けたキャンペーンの実施	沿岸局	地経費
12～1月	宮古の真鱈グルメフェア	「宮古の真鱈」の認知度向上や消費拡大に向けたフェアの開催	沿岸局	地経費
1月	宮古真鱈まつり	真鱈の知名度向上と販路開拓や消費拡大に向けたイベントの開催	宮古市	地経費：市町村事業